

平成28年度
市民満足度調査
集計結果

北広島市

企画財政部 政策推進室 企画課

目 次

I 調査の概要

1	目的	2
2	調査対象	2
3	調査方法	2
4	回収率	2
5	調査時期	2
6	回答者の状況	2
7	調査結果における指標	4

II 調査結果（市全体に関すること）

1	北広島市について、良いと感じるところ	6
2	北広島市について、改善すべきと感じるところ	9
3	住み良さについて	12
4	これからも住み続けたいか	14

III 調査結果（各種施策）

1	子育て支援の充実	19
2	教育環境の充実	29
3	定住人口の増加	39
4	利便性の高い公共交通	51
5	産業振興・雇用確保	55
6	防災体制の充実	59
7	幸福度	63

I 調査の概要

1. 目的

本調査は、政策評価や総合計画の進行管理などへの活用を図るため、市が取り組んでいる施策に対する、市民の満足度や重要度について、調査を実施するものである。

2. 調査対象

北広島市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為抽出で 1,000 人(居住地や年齢構成を考慮)

3. 調査方法

アンケート用紙を対象者へ郵送。返信用封筒により郵送回答

4. 回収率

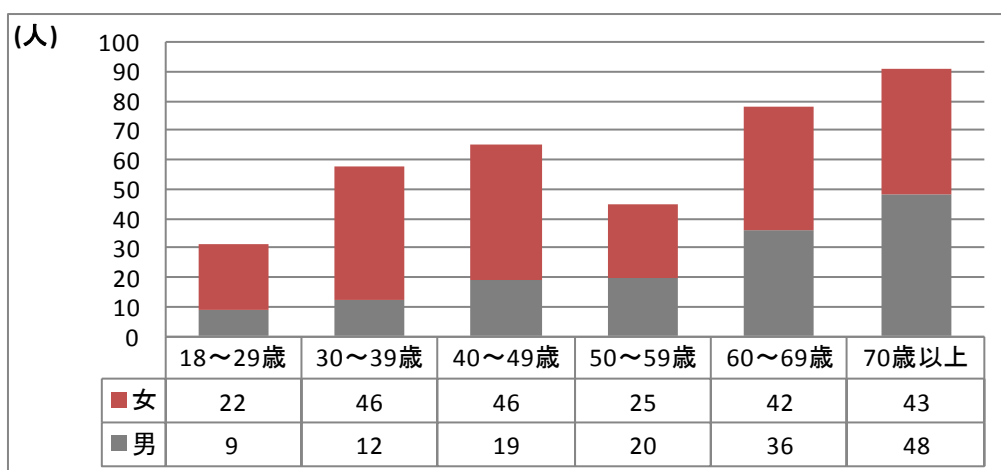
37.3% (回答数 373 件 / 調査件数 1,000 件)

5. 調査時期

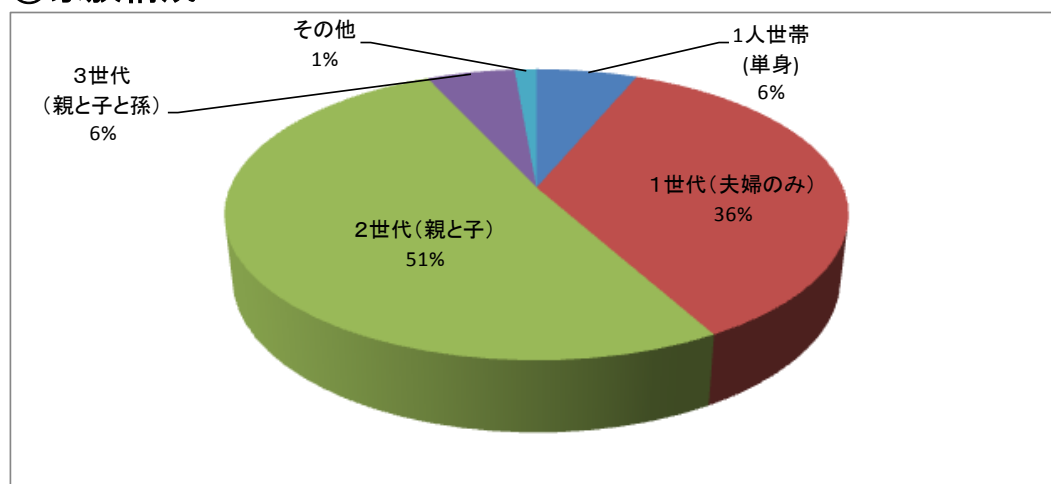
平成 28 年 6 月 14 日～平成 28 年 6 月 30 日

6. 回答者の状況

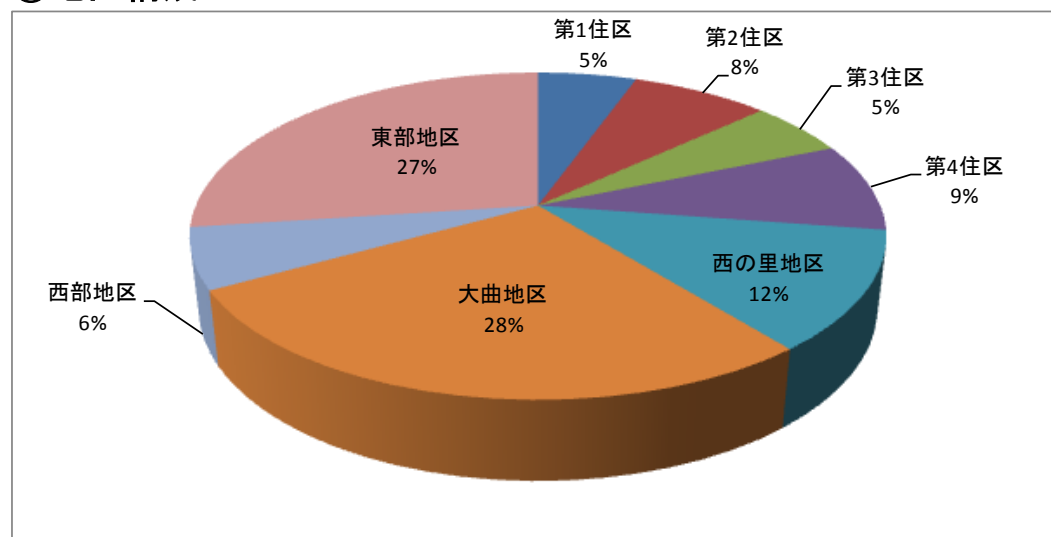
①性別・年齢層別



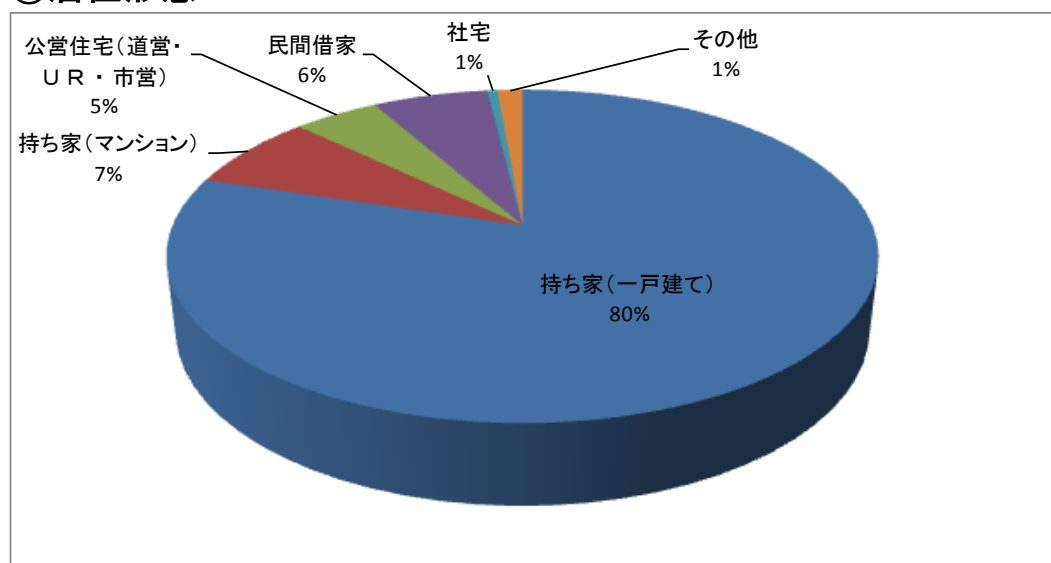
②家族構成



③地区構成



④居住形態



7. 調査結果における指標

①満足度

下記により算出した値の平均値

不満	やや不満	普通	やや満足	満足
1	2	3	4	5

②重要度

下記により算出した値の平均値

低い	やや低い	普通	やや高い	高い
1	2	3	4	5

③有効度

下記により算出した値の平均値

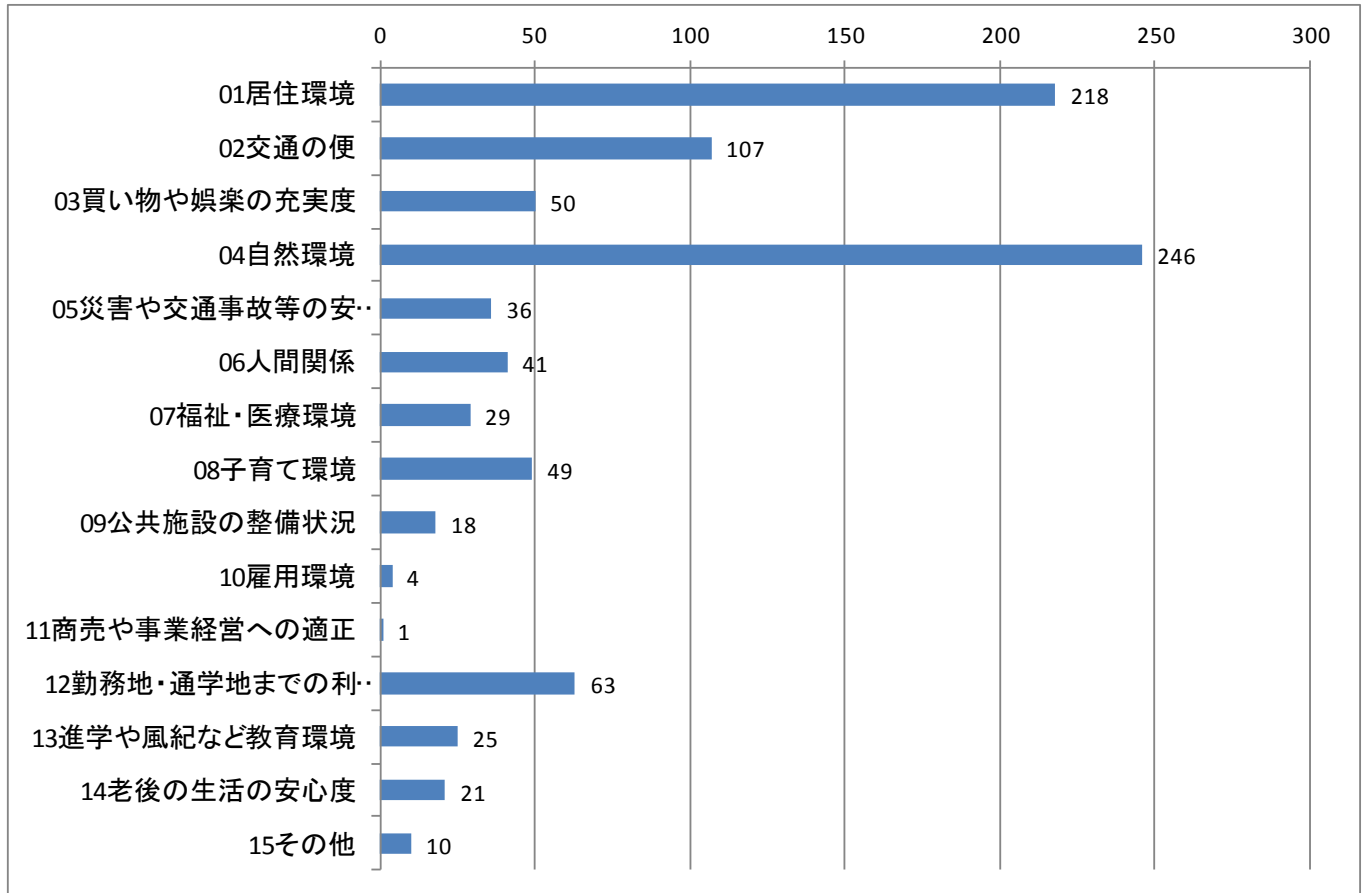
有効ではない	あまり有効 ではない	普通	やや有効	有効
1	2	3	4	5

Ⅱ 調査結果

(市全体に関すること)

1. 北広島市について、良いと感じるところ（問 7）

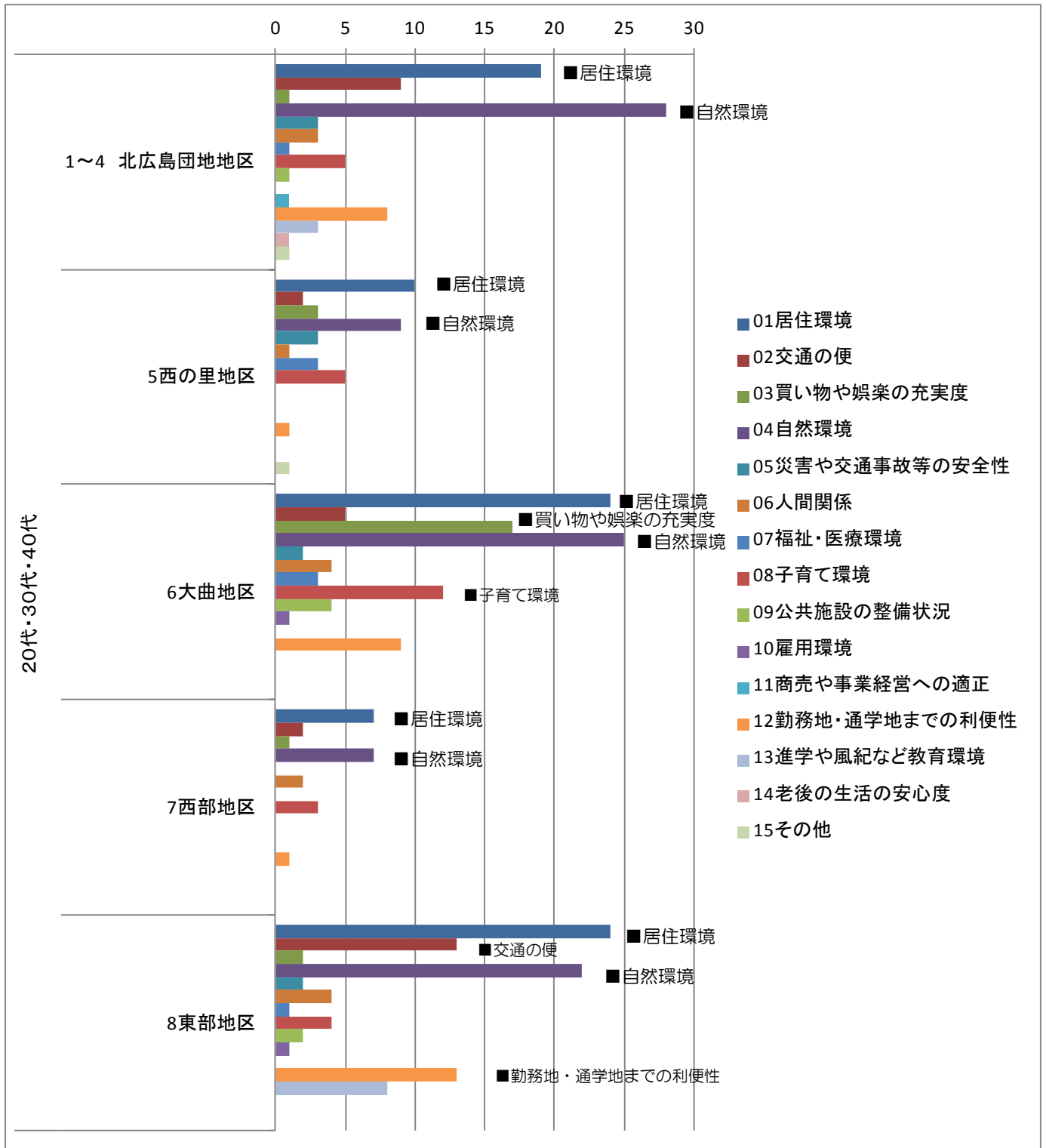
①全体集計



【回答が多い項目】

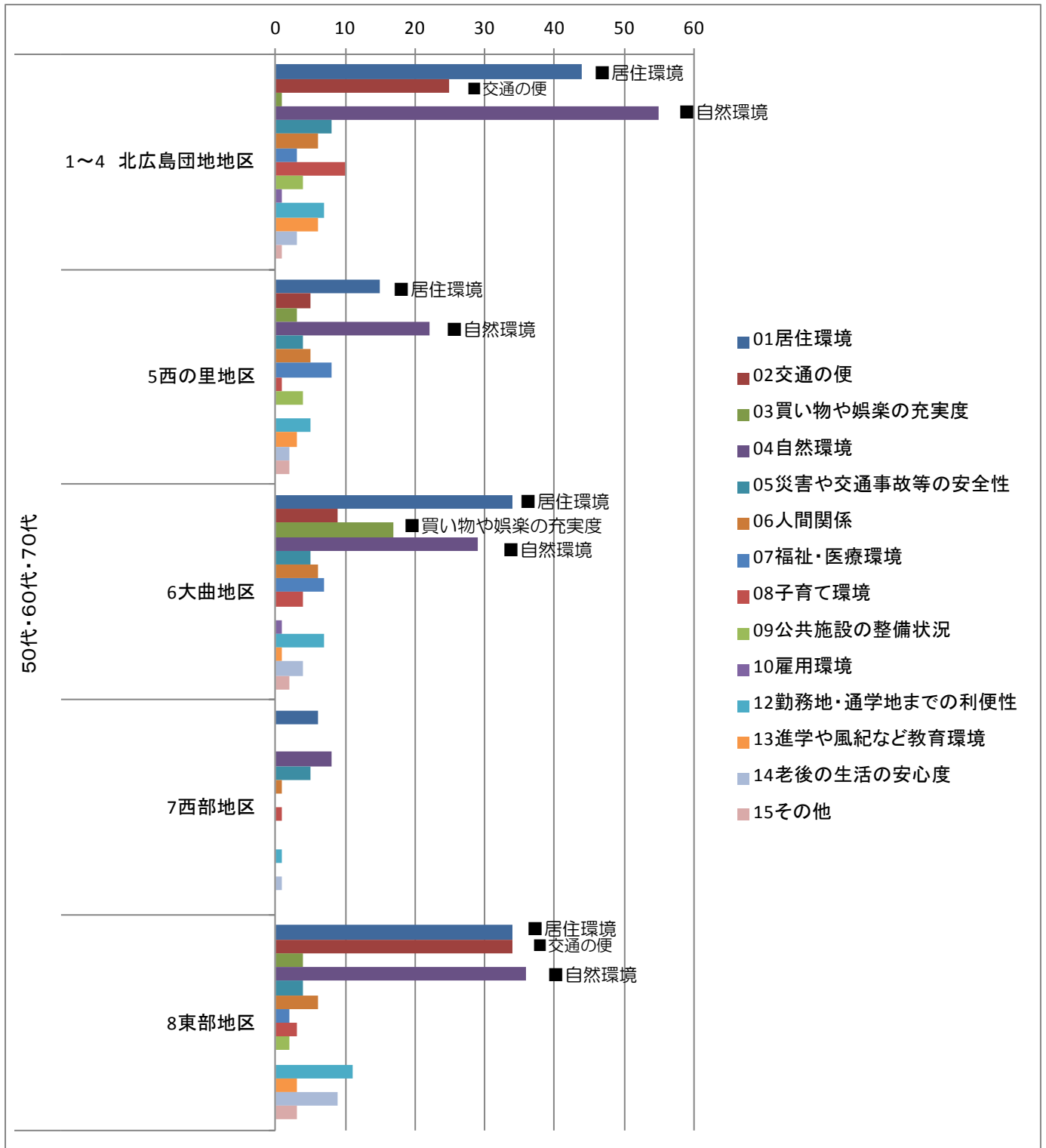
自然環境、居住環境、交通の便

②20代・30代・40代が北広島市について良いと感じるところ（地区別）



- 北広島団地地区：自然環境、居住環境
- 西の里地区：居住環境、自然環境
- 大曲地区：自然環境、居住環境、買い物や娯楽の充実度、子育て環境
- 西部地区：居住環境、自然環境
- 東部地区：居住環境、自然環境、勤務地・通学地までの利便性、交通の便

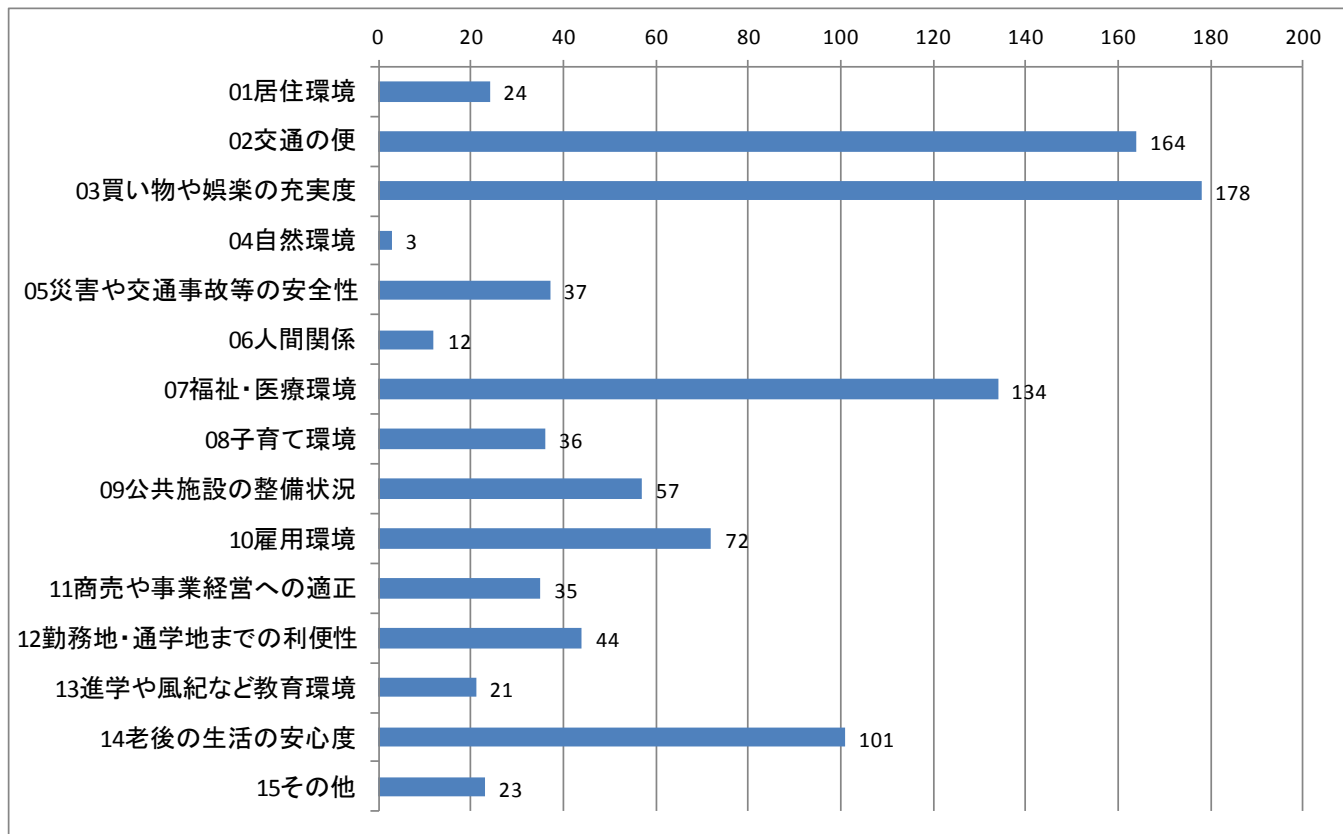
③50代・60代・70代が北広島市について良いと感じるところ（地区別）



■北広島団地地区：自然環境、居住環境、居住環境、交通の便
 ■西の里地区：自然環境、居住環境
 ■大曲地区：居住環境、自然環境、買い物や娯楽の充実度、
 ■東部地区：自然環境、交通の便、居住環境

2. 北広島市について、改善すべきと感じるところ（問 8）

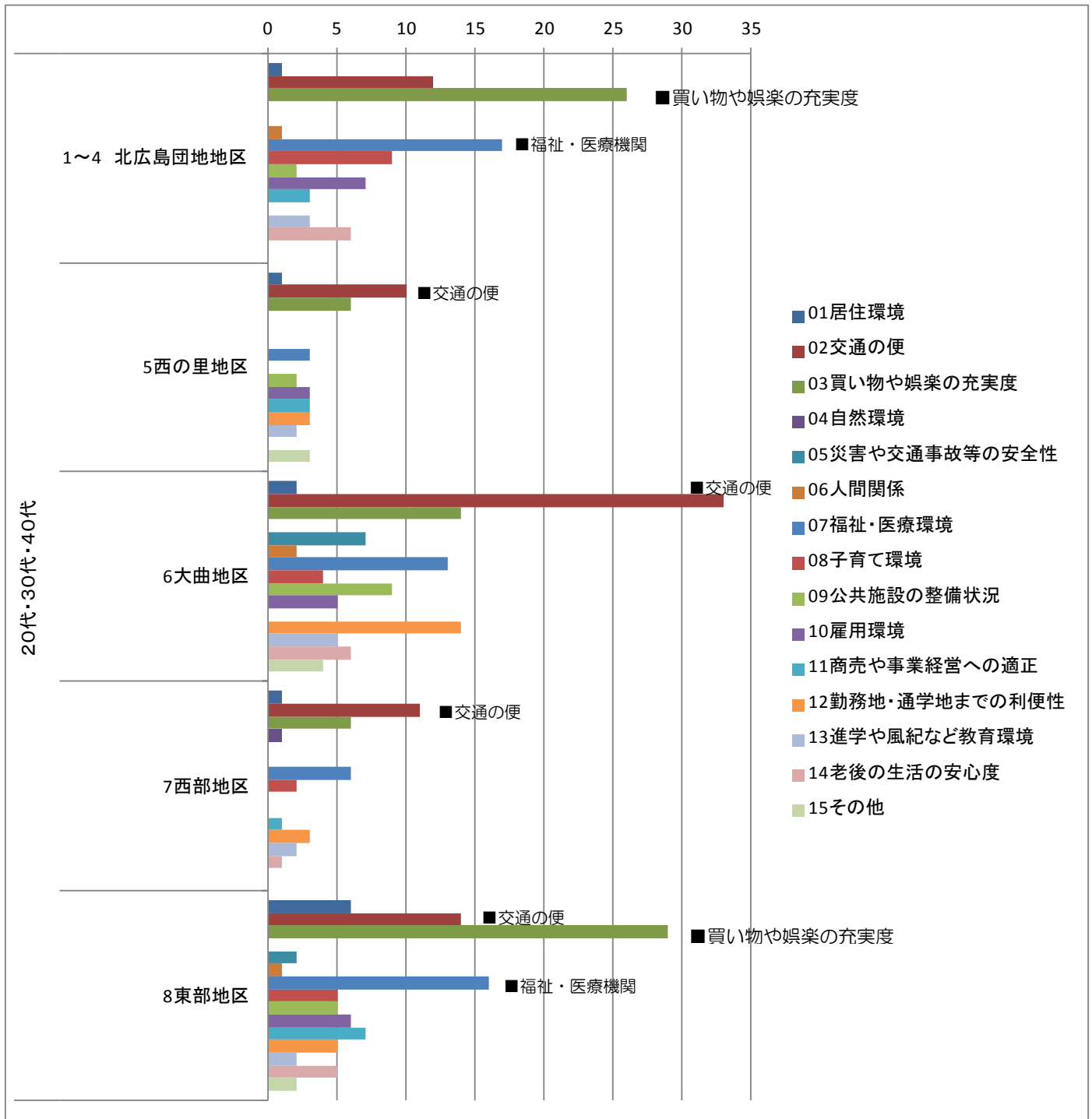
①全体集計



【回答が多い項目】

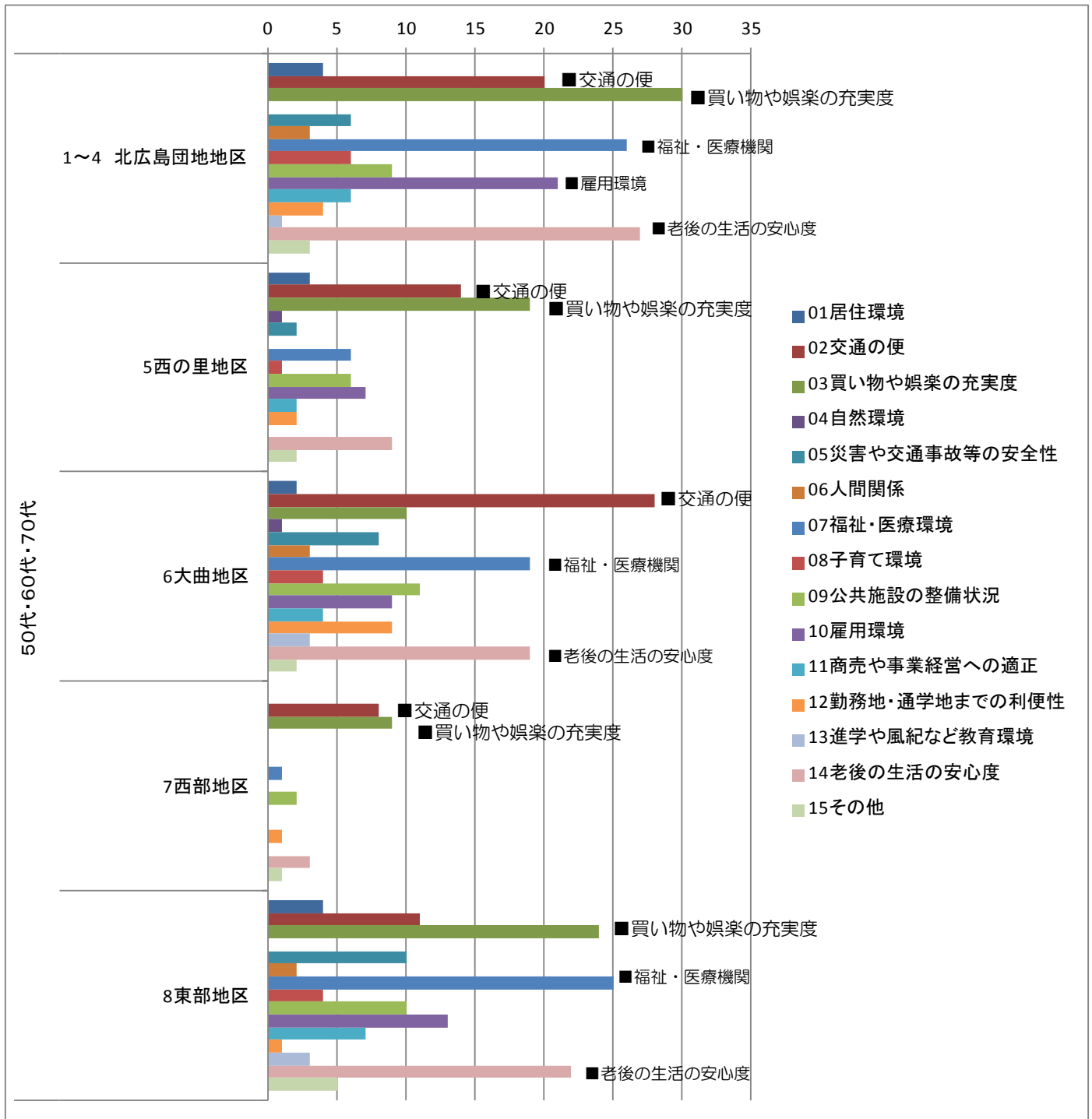
買い物や娯楽の充実度、交通の便、福祉・医療環境、老後の生活の安心度

②20代・30代・40代が北広島市について改善すべきと感じるところ（地区別）



■北広島団地地区：買い物や娯楽の充実度、福祉・医療機関、交通の便
 ■西の里地区：交通の便
 ■大曲地区：交通の便
 ■西部地区：交通の便
 ■東部地区：買い物や娯楽の充実度、福祉・医療機関、交通の便

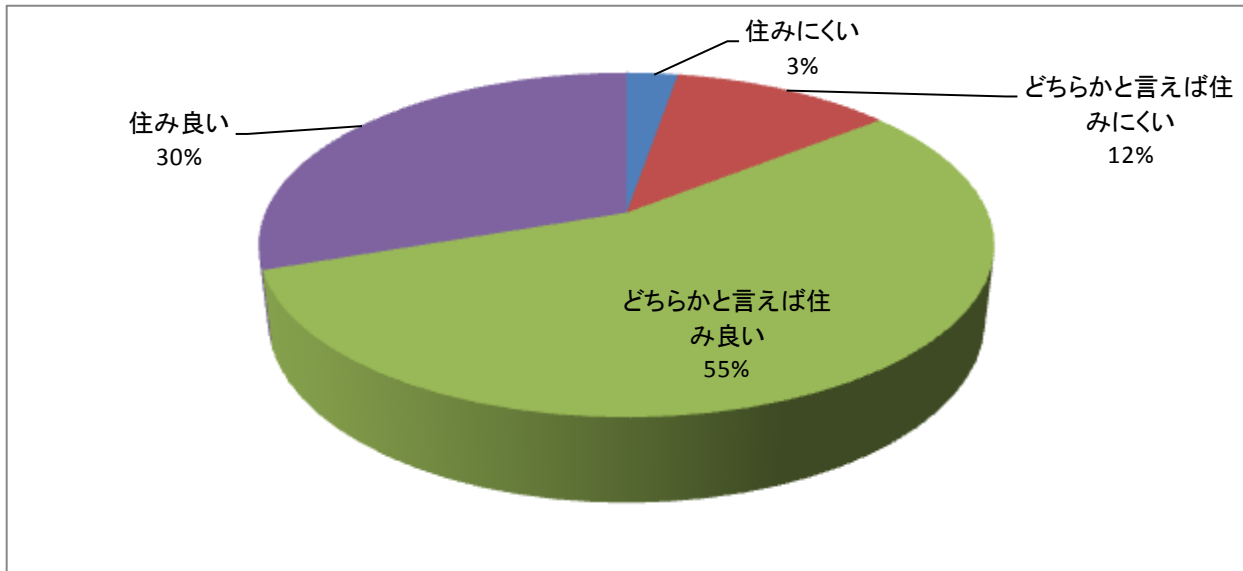
③50代・60代・70代が北広島市について改善すべきと感じるところ（地区別）



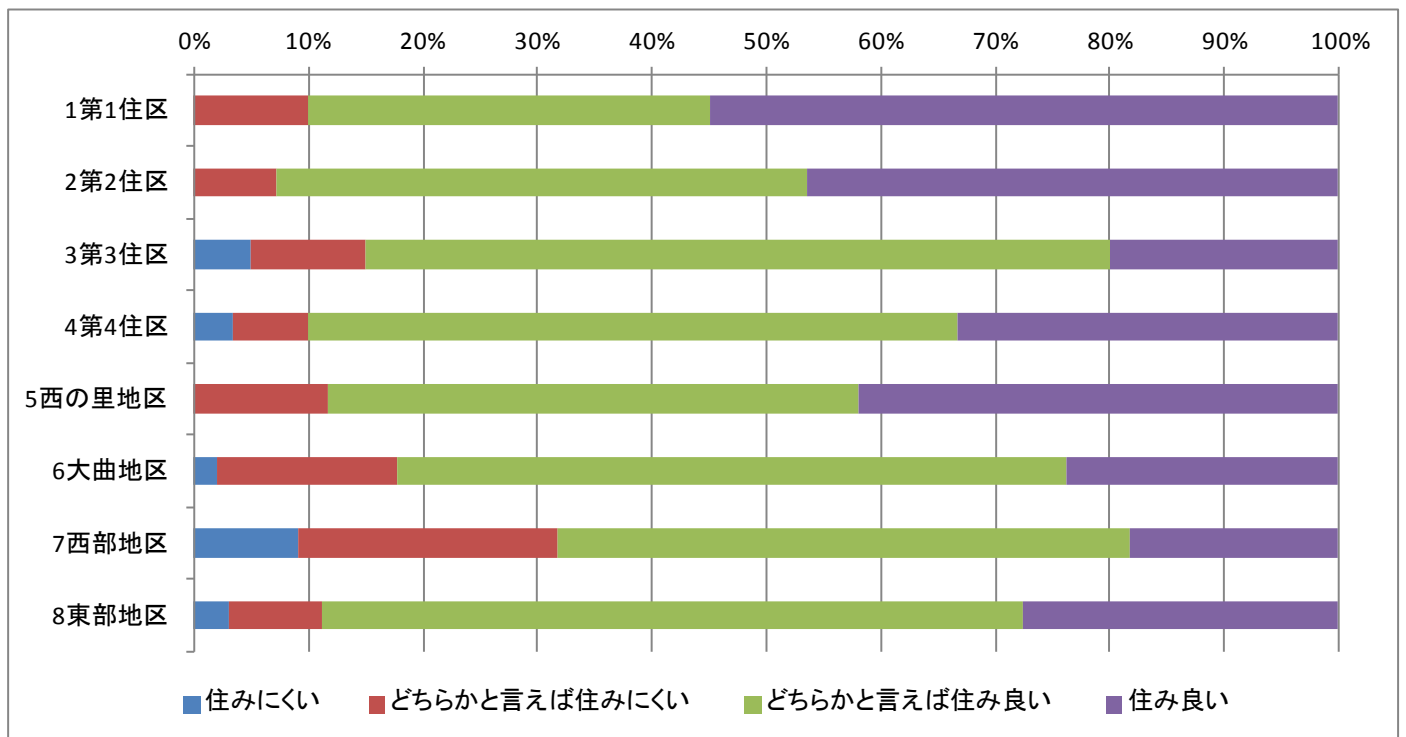
- 北広島団地地区：買い物や娯楽の充実度、老後の生活の安心度、福祉・医療機関、雇用環境、交通の便
- 西の里地区：買い物や娯楽の充実度、交通の便
- 大曲地区：交通の便、老後の生活の安心度、福祉・医療機関
- 西部地区：買い物や娯楽の充実度、交通の便
- 東部地区：福祉・医療機関、買い物や娯楽の充実度、老後の生活の安心度

3. 住み良さについて（問 9）

①全体集計

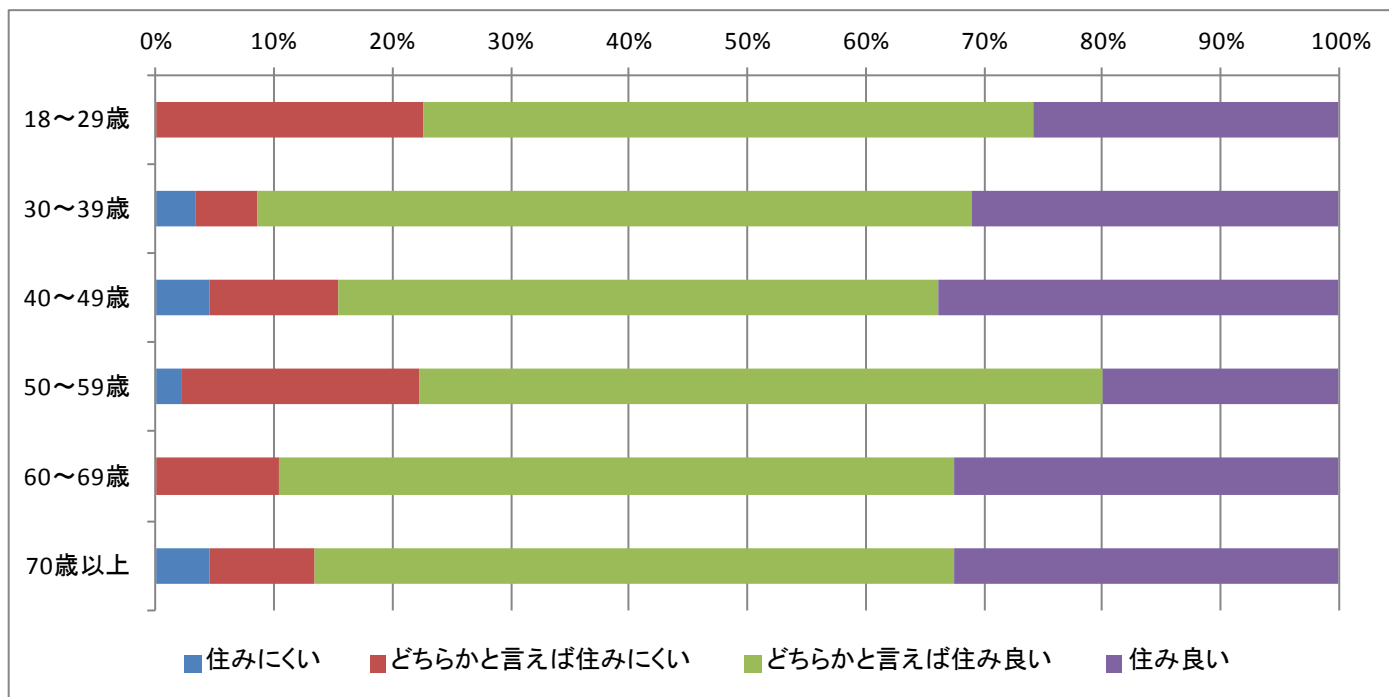


②地区別の分析



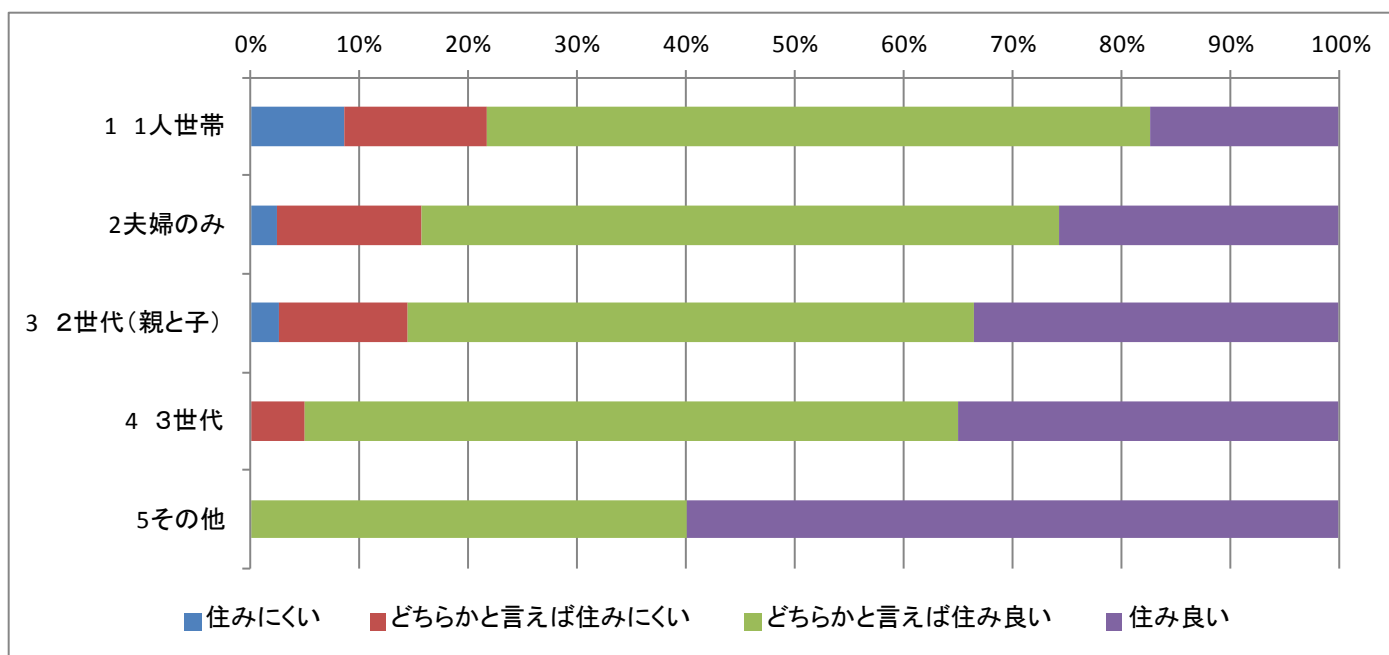
■西部地区において、「住みにくい」「どちらかと言えば住みにくい」が多い

③年齢層別の分析



■ 18～29 歳、50～59 歳において、「住みにくい」「どちらかと言えば住みにくい」が多い

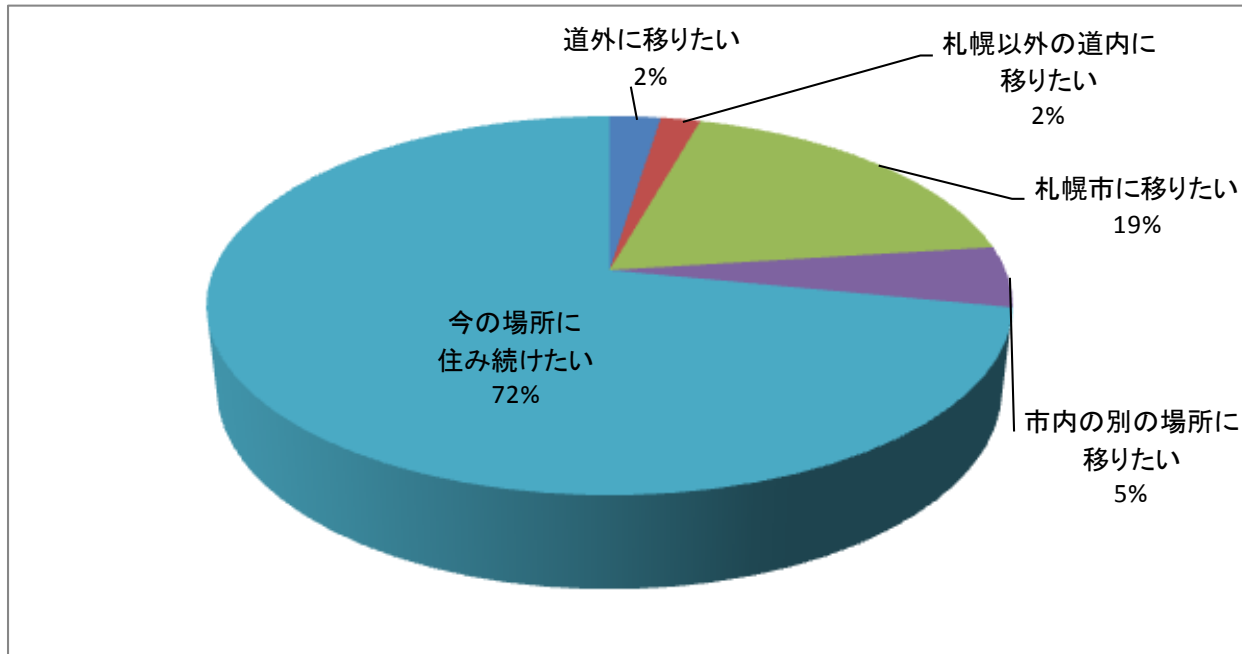
④家族構成別の分析



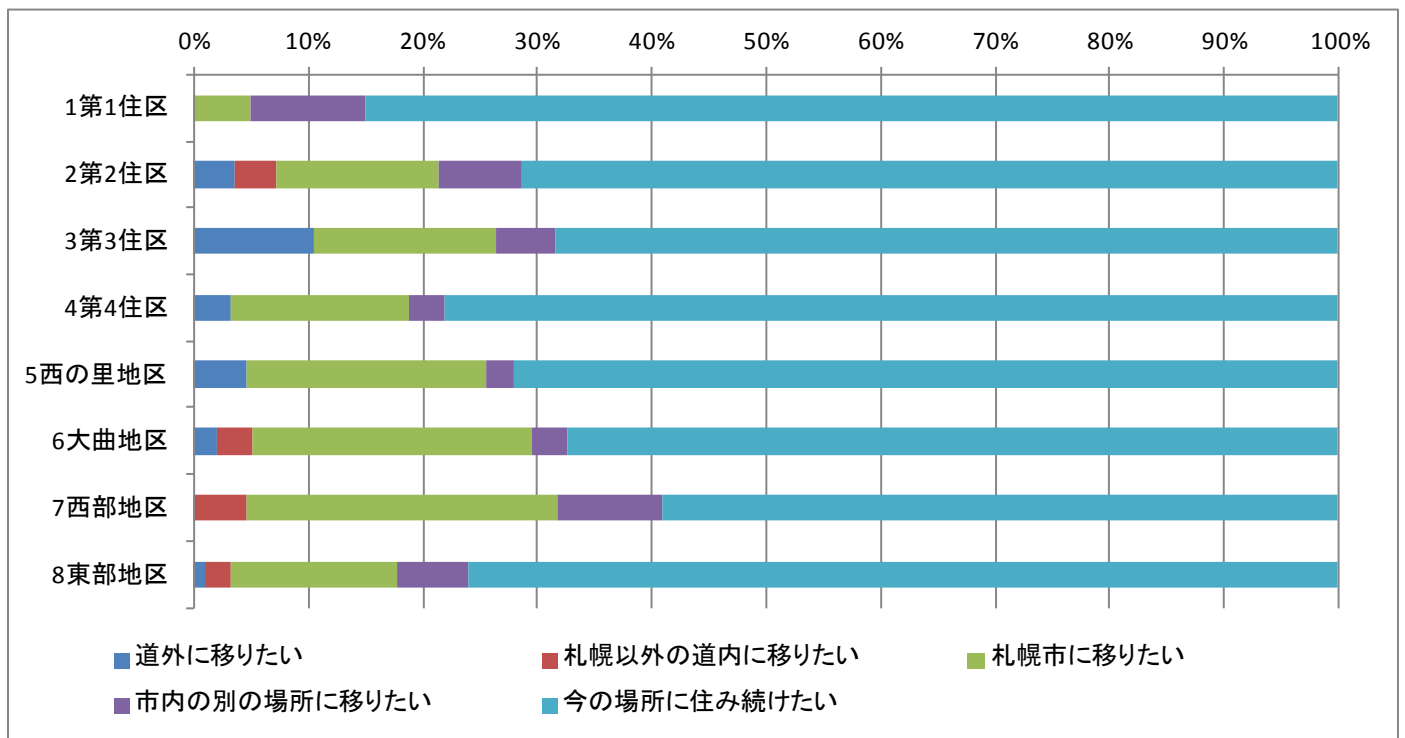
■ 1人世帯において「住みにくい」が多い

4. これからも住み続けたいか（問 10）

①全体集計

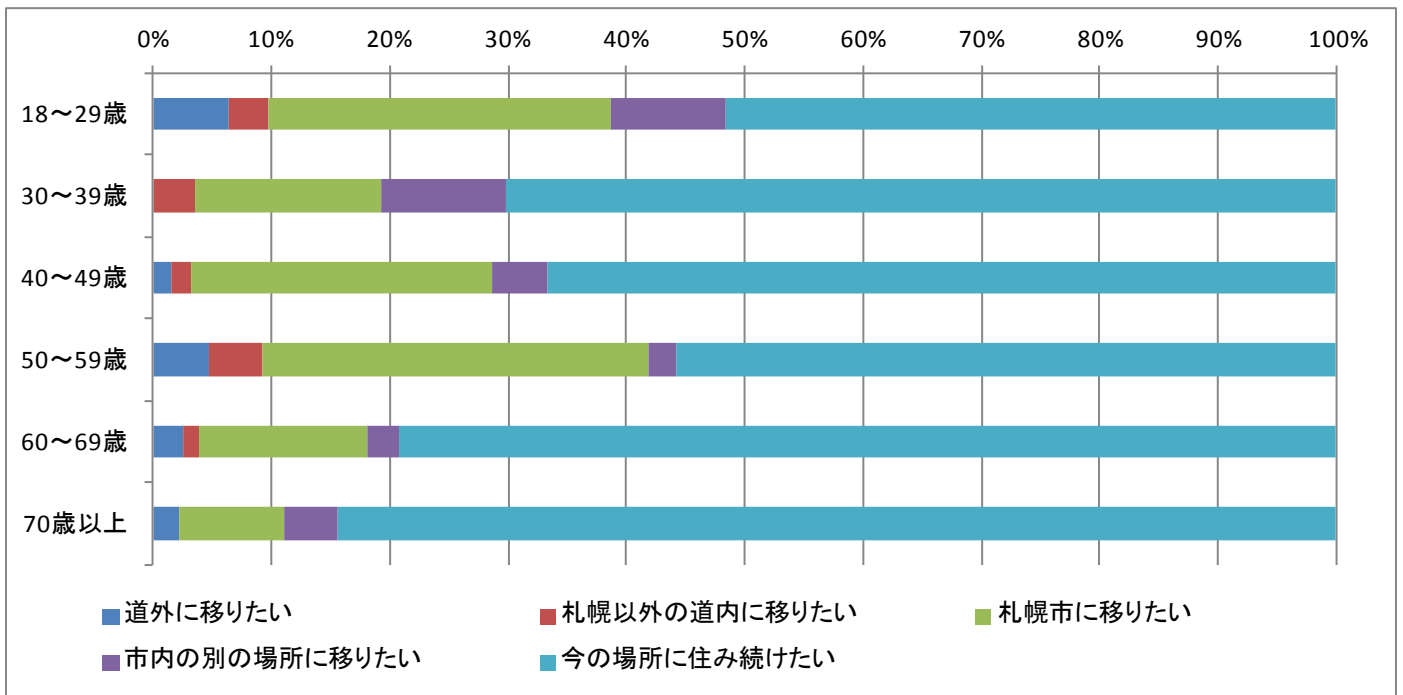


②地区別の分析



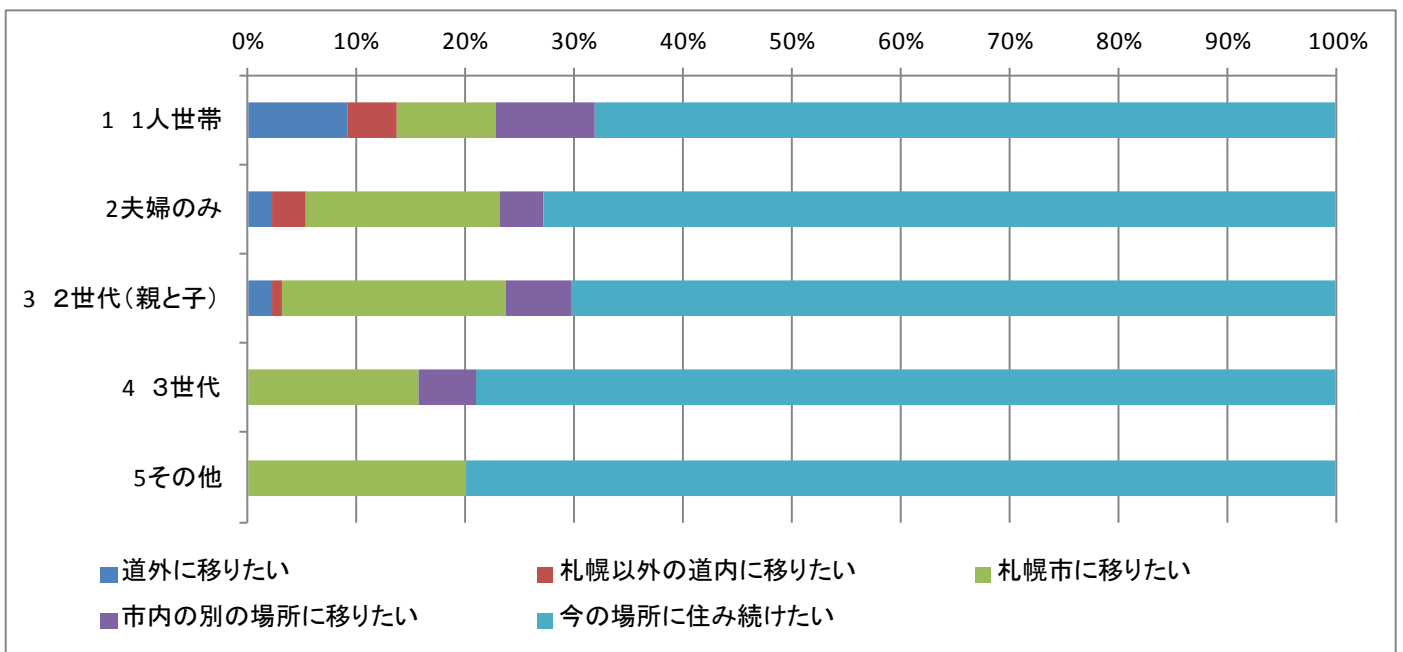
■西部地区において転居を希望する人が多い。第1住区において「今の場所に住み続けたい」が多い

③年齢別の分析



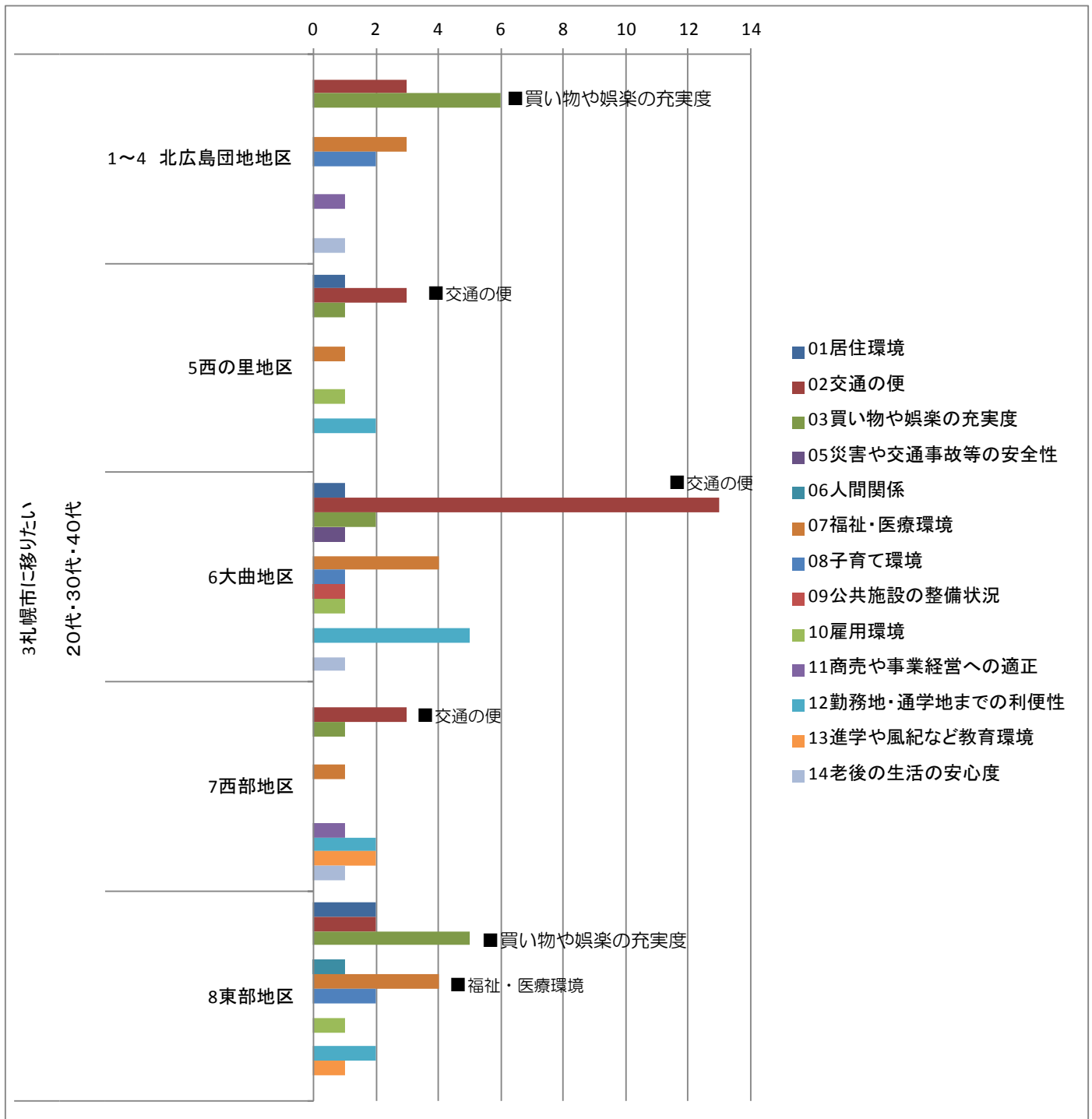
■ 50代・20代において、札幌市などに転居を希望する人が多い
 ■ 60代・70歳以上において、今の場所に住み続けたい人が多い

④家族構成別の分析



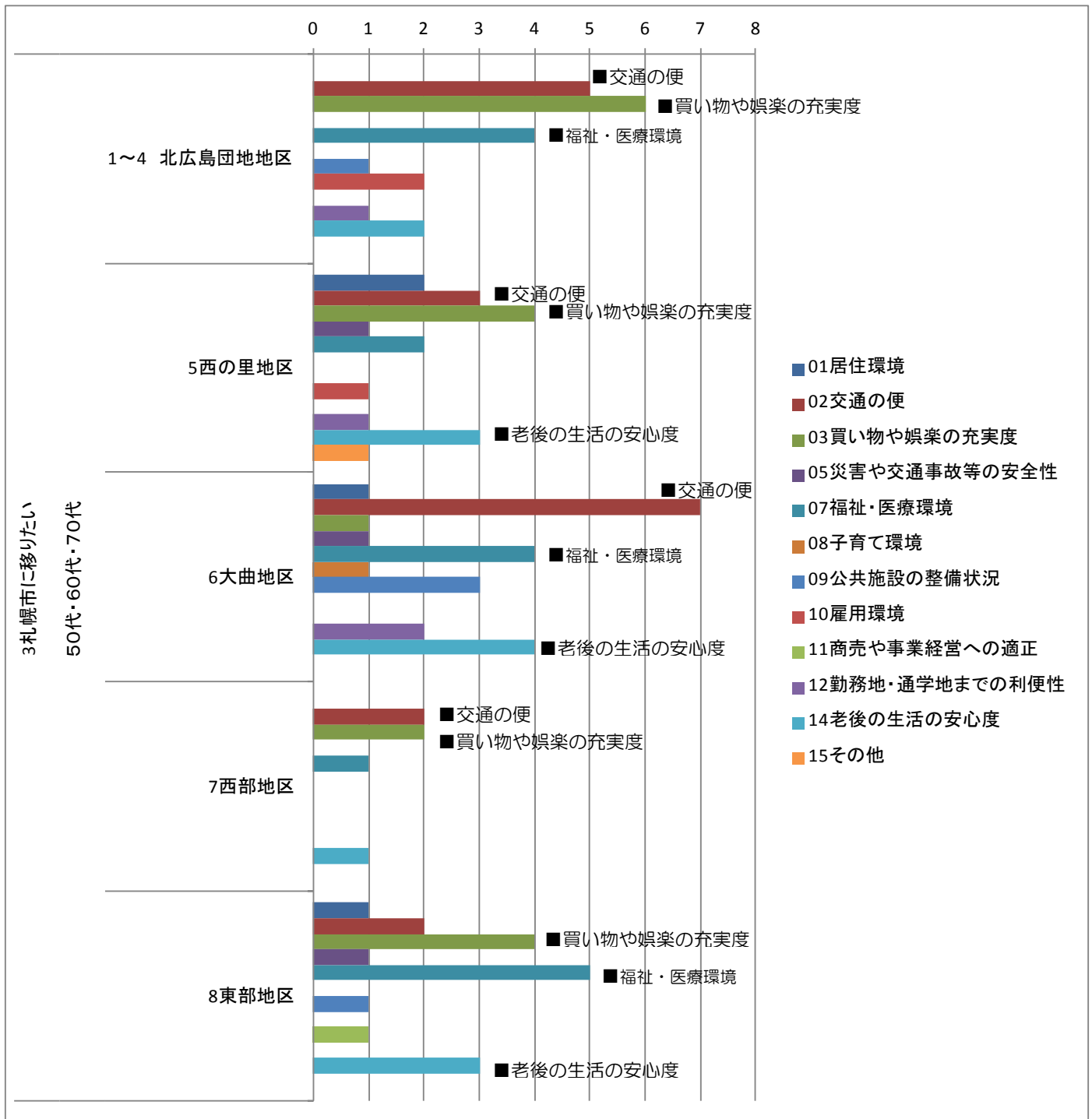
■ 1人世帯において、道外に移りたい人が多い
 ■ 1人世帯以外では、札幌市に移りたい人が20%程度いる

⑤札幌市に移りたいと思っている 20 代・30 代・40 代が、「改善すべきと感じている」こと



■北広島団地地区：買い物や娯楽の充実度
 ■大曲地区：交通の便、福祉・医療環境
 ■東部地区：買い物や娯楽の充実度、福祉・医療環境

⑥札幌市に移りたいと思っている 50 代・60 代・70 代が、「改善すべきと感じている」こと



- 北広島団地地区：買い物や娯楽の充実度、交通の便、福祉・医療機関
- 西の里地区：買い物や娯楽の充実度、交通の便、老後の生活の安心度
- 大曲地区：交通の便、老後の生活の安心度、福祉・医療機関
- 西部地区：買い物や娯楽の充実度、交通の便
- 東部地区：福祉・医療機関、買い物や娯楽の充実度、老後の生活の安心度

Ⅲ 調査結果

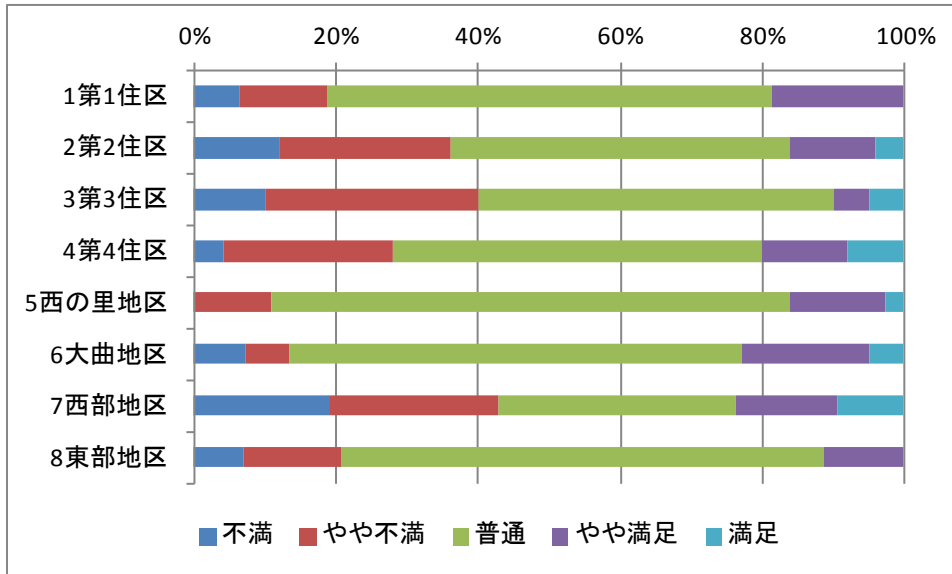
(1 . 子育て支援の充実)

1. 子育て支援の充実に向けた取り組みについて

1-1. 取組全体について（問 11）

施策	満足度	重要度
子育て支援の充実	2.9	3.8

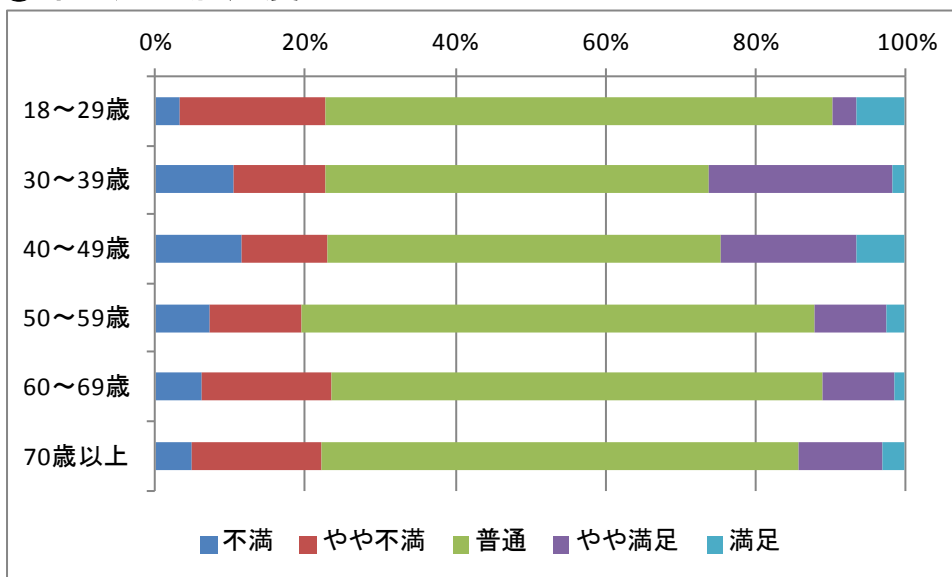
①地区別の満足度



	満足度
1第1住区	2.9
2第2住区	2.7
3第3住区	2.7
4第4住区	3.0
5西の里地区	3.1
6大曲地区	3.1
7西部地区	2.7
8東部地区	2.8

- 満足度が高い地区：西の里地区、大曲地区
- 満足度が低い地区：第2住区、第3住区、西部地区

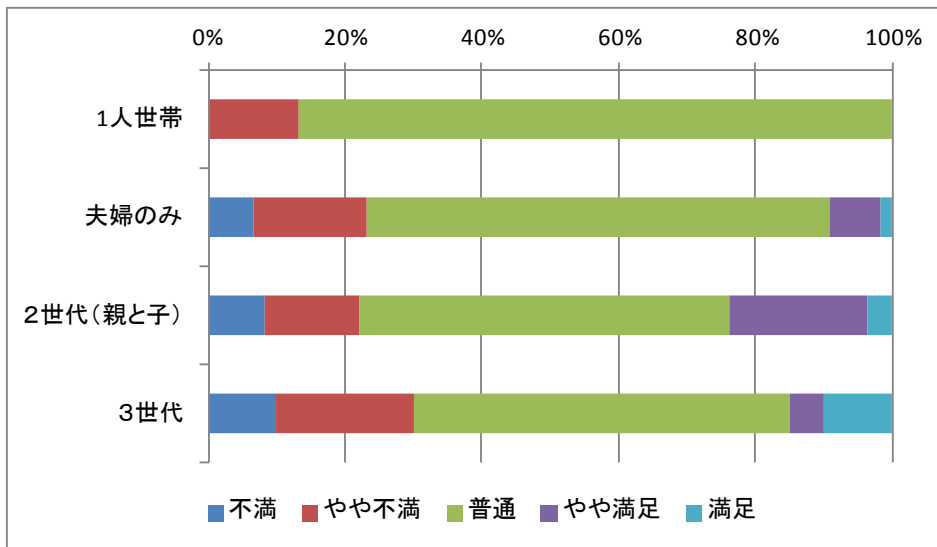
②年代別の満足度



	満足度
18～29歳	2.9
30～39歳	2.9
40～49歳	3.0
50～59歳	2.9
60～69歳	2.8
70歳以上	2.9

- 満足度が高い年代：40～49歳
- 満足度が低い年代：60～69歳

③家族構成別の満足度



	満足度
1人世帯	2.9
夫婦のみ	2.8
2世代(親と子)	3.0
3世代	2.9

■ 満足度が高い家族構成：2世代（親と子）
 ■ 満足度が低い家族構成：夫婦のみ

④自由記載の内容（全件）

内容	人数
産婦人科の誘致【要望】	36
病院の充実【要望】	2
子育て支援センターの充実【要望】	2
保育園の充実【要望】	2
保育料が高い	1
児童館の整備【要望】	1
夜間急病センターの充実【要望】	1
子どもを作るための制度【要望】	1
病児病後児保育の充実【要望】	1
乳幼児健診の充実【要望】	1
時間外保育の充実【要望】	1
出産後の母親学級【要望】	1
公園の充実【要望】	1

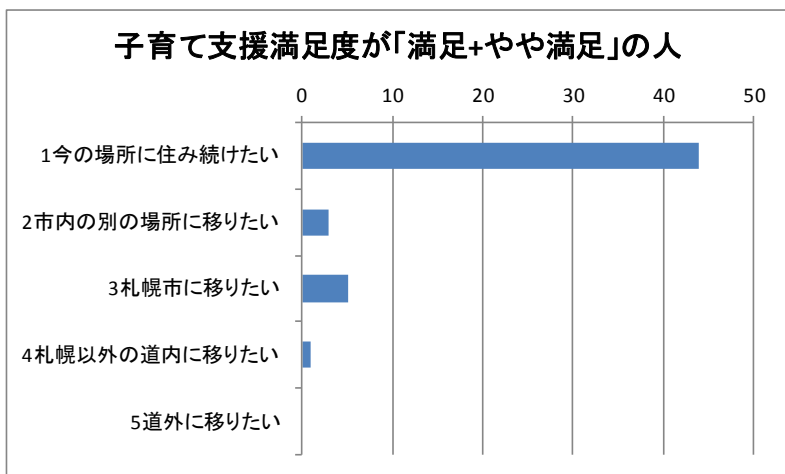
「産婦人科の誘致」内訳(地区別)		
1第1住区	4	11%
2第2住区	5	14%
3第3住区	3	8%
4第4住区	4	11%
5西の里地区	1	3%
6大曲地区	2	6%
7西部地区	2	6%
8東部地区	15	42%
36		

■ 産婦人科の誘致の要望が多い
 ■ 東部地区、北広島団地地区において産婦人科の誘致の要望が多い(回答者の地区別割合)

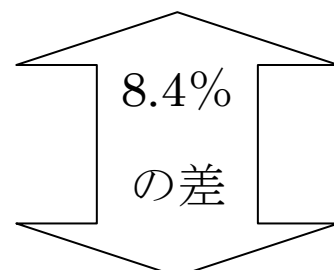
⑤子育て支援施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

内容	人数
産婦人科の誘致【要望】	22
児童館の整備【要望】	1
子育て支援センターの充実【要望】	1
夜間急病センターの充実【要望】	1
保育園の充実【要望】	1
子どもを作るための制度【要望】	1
病児病後児保育の充実【要望】	1
出産後の母親学級【要望】	1

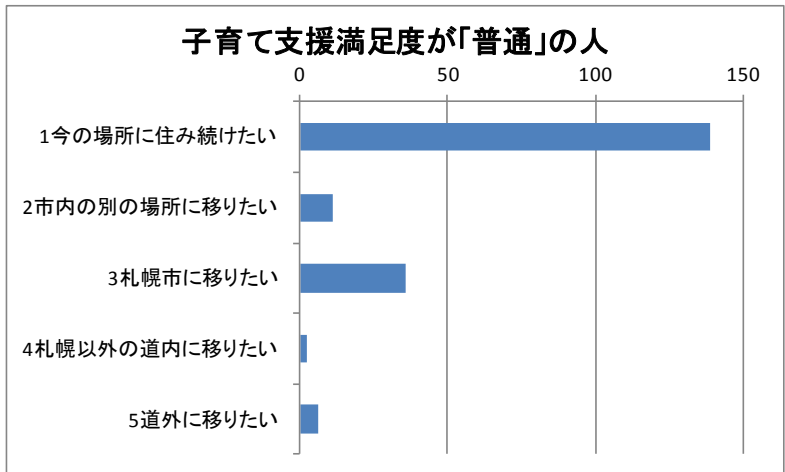
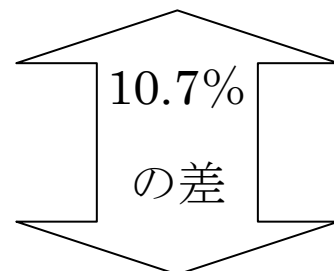
⑥満足度ごとの分析 「これからも住みたいか」



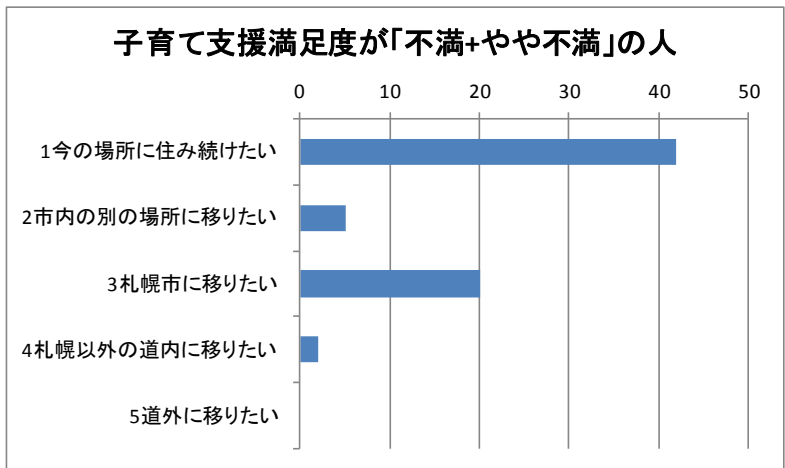
今の場所に住みたい人の割合
80.0%



今の場所に住みたい人の割合
71.6%



今の場所に住みたい人の割合
60.9%



■子育て支援満足度ごとの「住みたい割合」の差が比較的大きい
⇒子育て満足度を上げた場合、「住みたい割合」の増加率が高くなる

1-2. 個別の取組内容について（問 17）

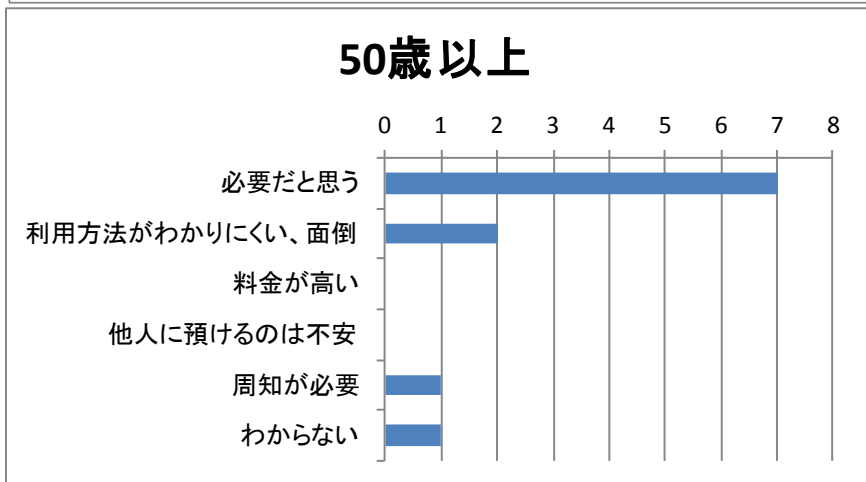
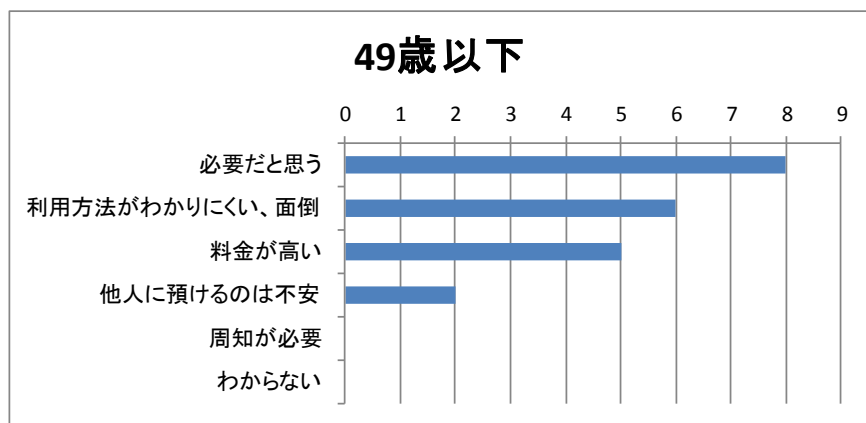
①病児緊急預かり事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	27.2%	31.7%
有効度	3.8	3.9

■ 認知度が比較的低い

【自由意見の記載内容】



■ 49 歳以下において、「利用方法がわかりにくい」、「料金が高い」という意見が多い

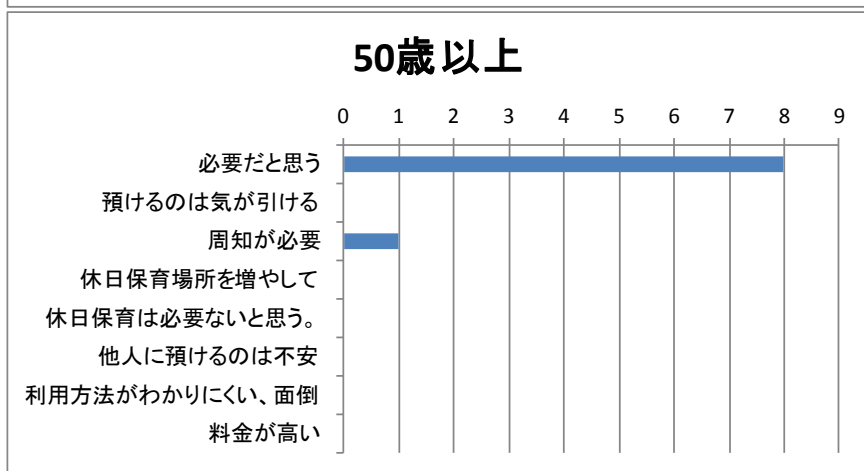
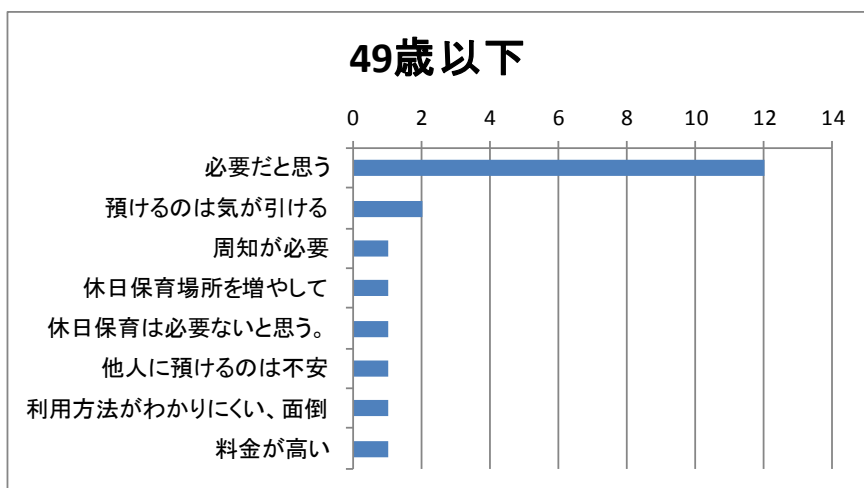
②保育園一時預かり事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	33.9%	41.2%
有効度	4.1	4.2

- 2 世代世帯の認知度が比較的高い
- 有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



- 「必要だと思う」という意見が多い

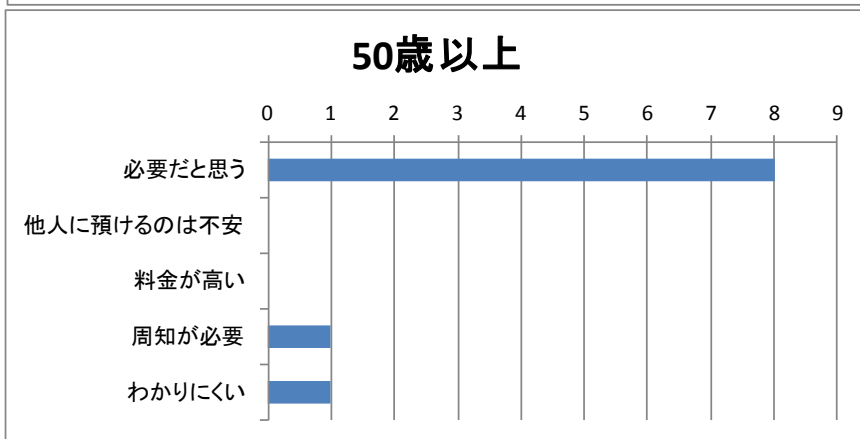
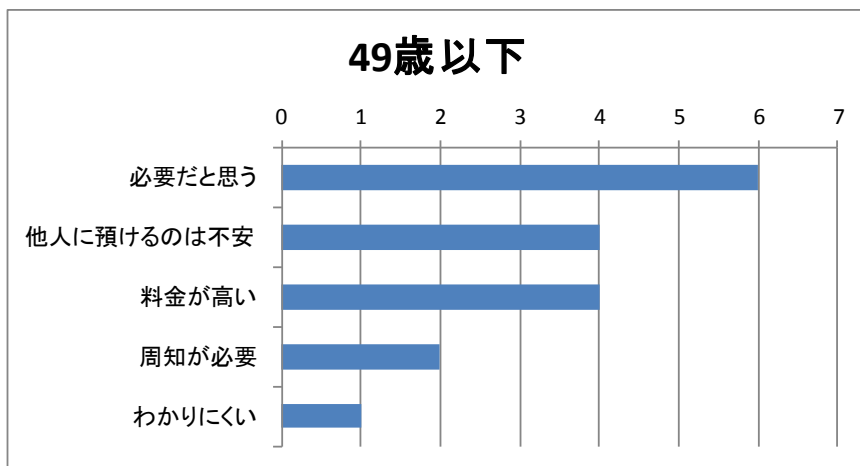
③ファミリーサポートセンター事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	35.1%	24.1%
有効度	4.0	4.1

- 2 世代世帯の認知度が比較的低い
- 有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



- 49 歳以下において、「他人に預けるのは不安」、「料金が高い」という意見が多い

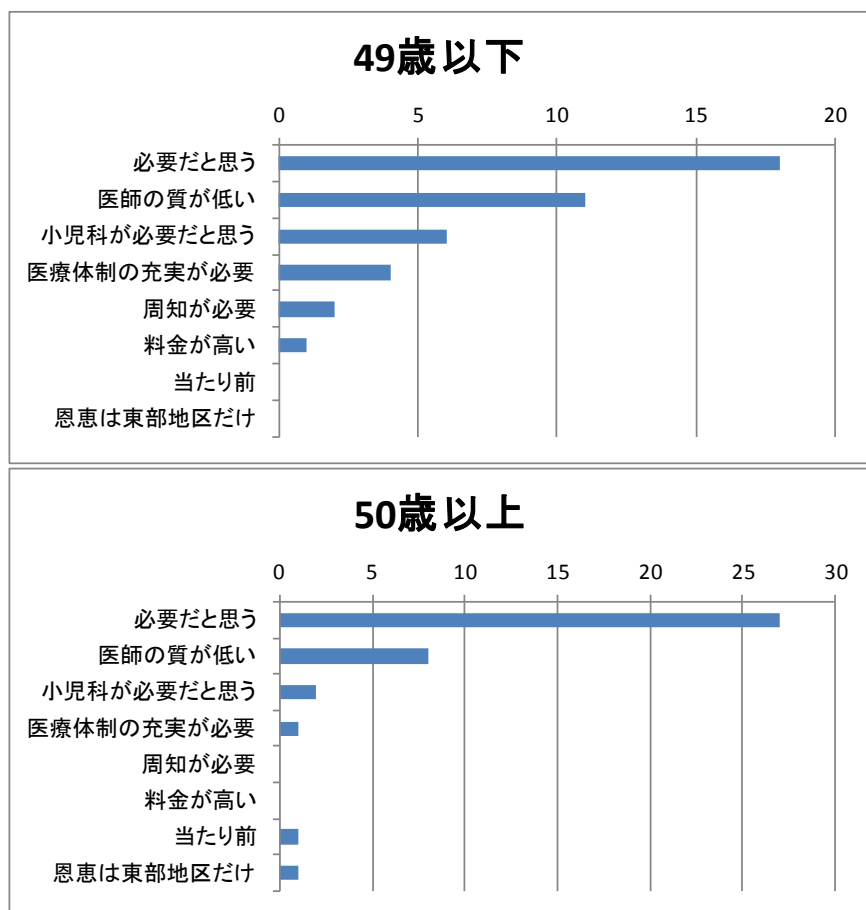
④救急医療推進事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	80.4%	83.2%
有効度	4.0	4.1

- 認知度が非常に高い
- 有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



- 「医師の質が低い」、「小児科が必要」という意見が多い

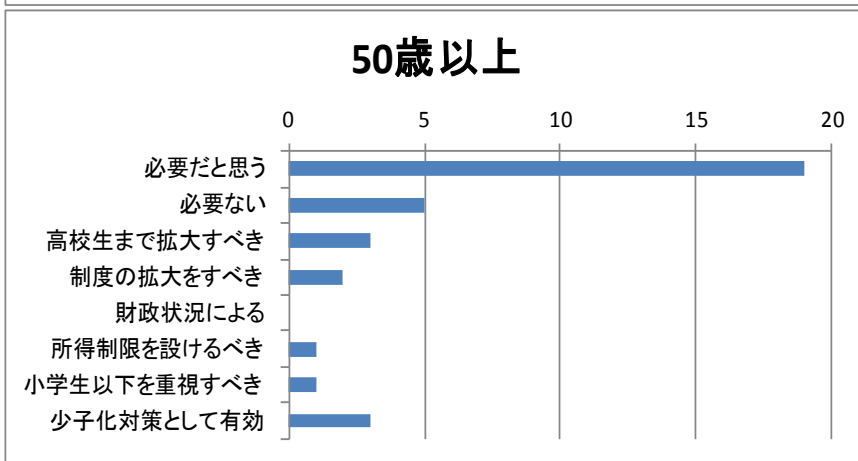
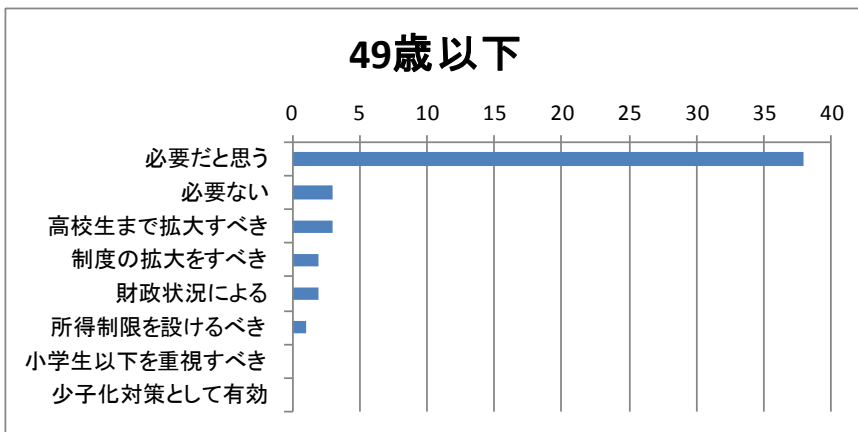
⑤子ども医療費助成事業（平成 28 年度新規事業）

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯
有効度	4.1	4.2

■有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



■「必要だと思う」という意見が多い

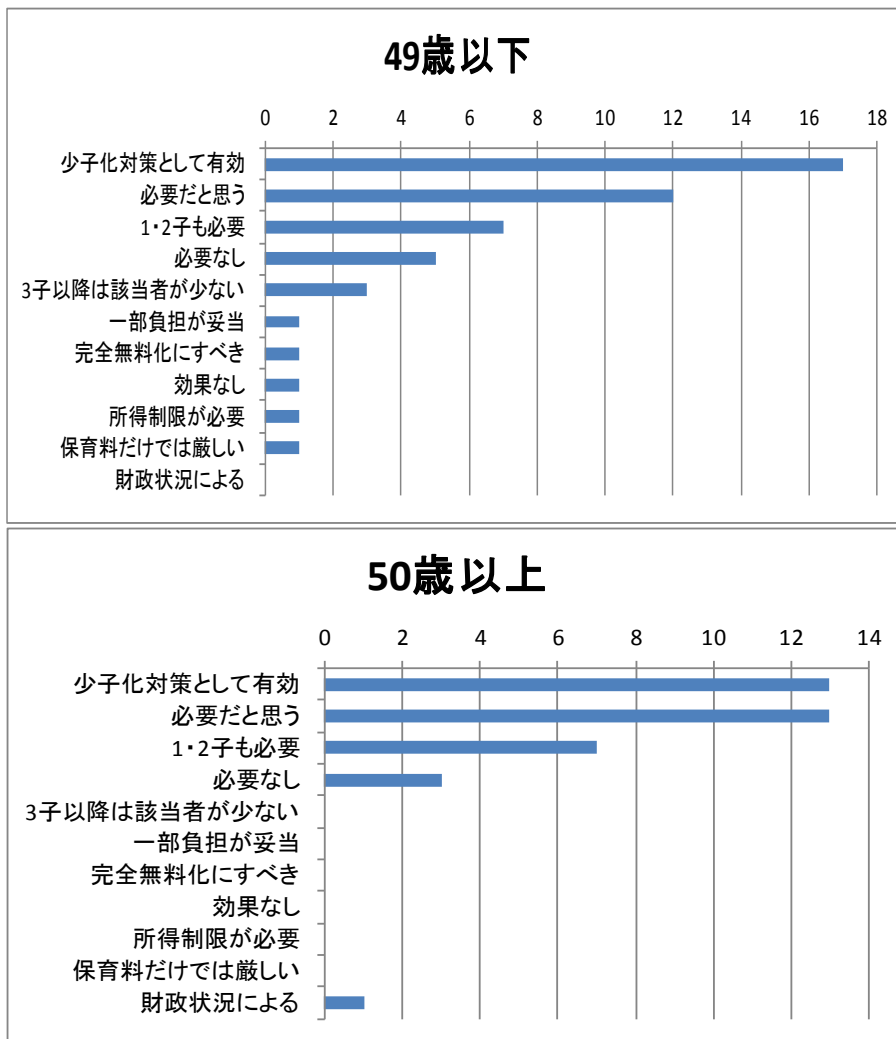
⑥多子世帯子育て支援事業（平成 28 年度新規事業）

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯
有効度	4.1	4.1

■有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



■「少子化対策として有効」「1・2子も必要」という意見が多い

Ⅲ 調査結果

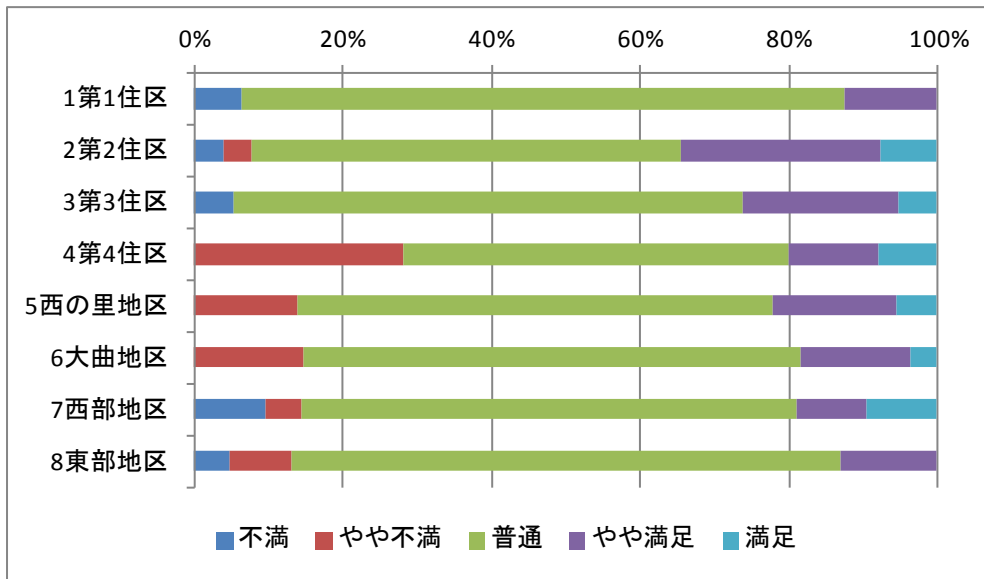
(2 . 教育環境の充実)

2. 教育環境の充実に向けた取り組みについて

2-1. 取組全体について (問 12)

施策	満足度	重要度
教育環境の充実	3.1	3.8

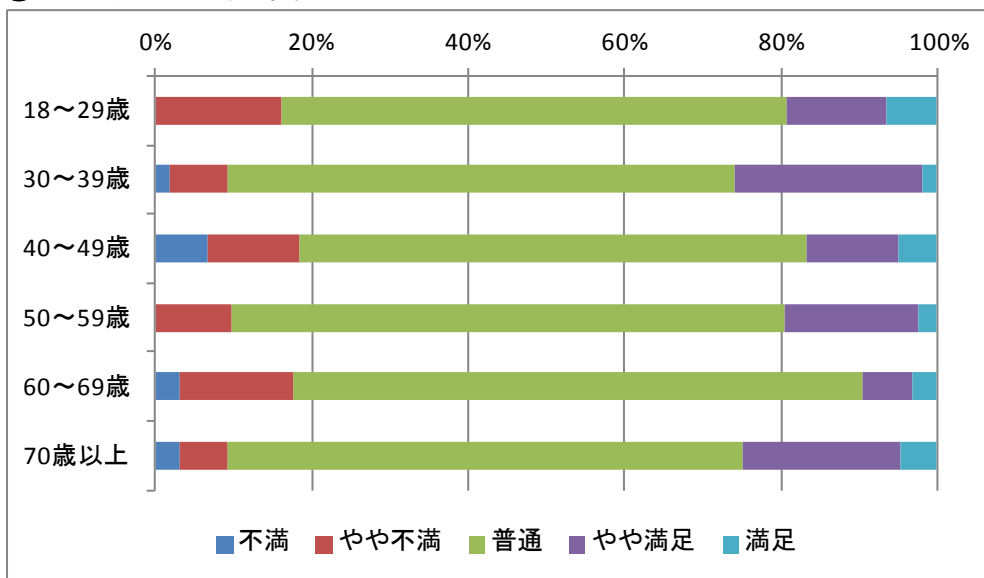
①地区別の満足度



	満足度
1 第1住区	3.0
2 第2住区	3.3
3 第3住区	3.2
4 第4住区	3.0
5 西の里地区	3.1
6 大曲地区	3.1
7 西部地区	3.0
8 東部地区	3.0

■ 満足度が高い地区：第2住区、第3住区

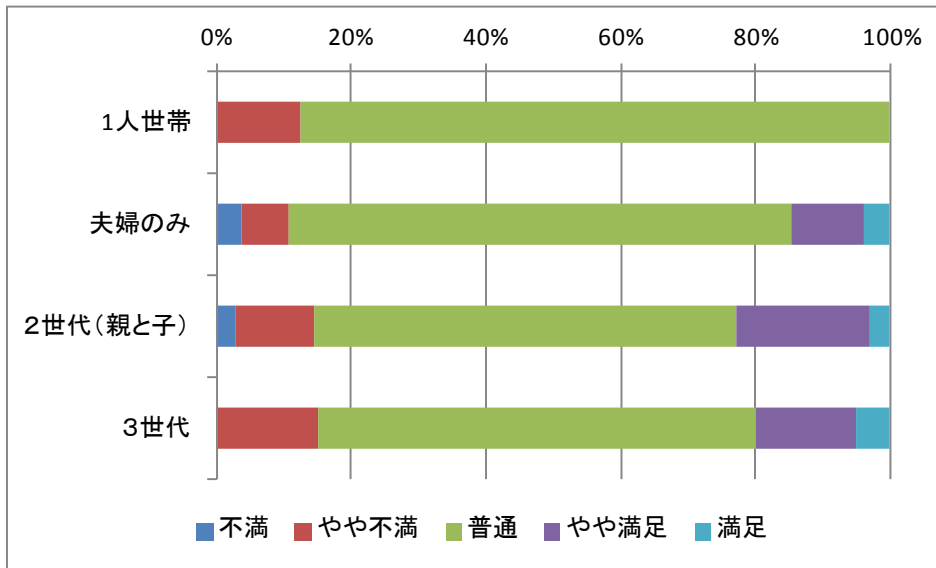
②年齢別の満足度



	満足度平均
18～29歳	3.1
30～39歳	3.2
40～49歳	3.0
50～59歳	3.1
60～69歳	2.9
70歳以上	3.2

■ 満足度が高い年代：30～39歳、70歳以上

③家族構成別の満足度



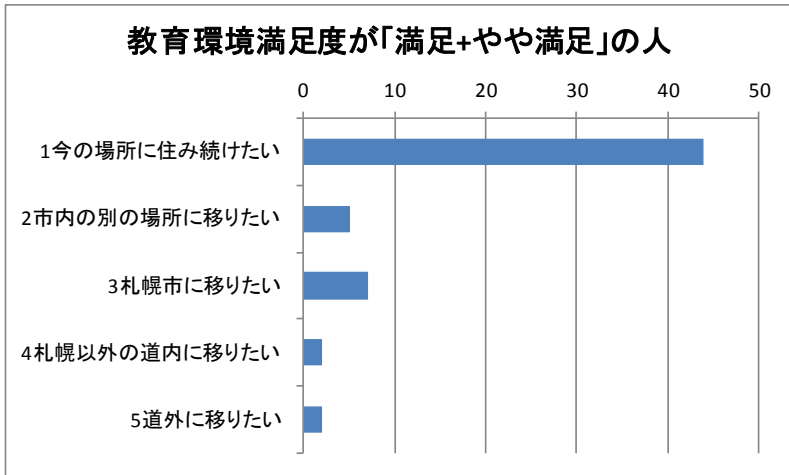
	満足度
1人世帯	2.9
夫婦のみ	3.0
2世代(親と子)	3.1
3世代	3.1

■ 満足度が高い世帯：2世代(親と子)、3世代

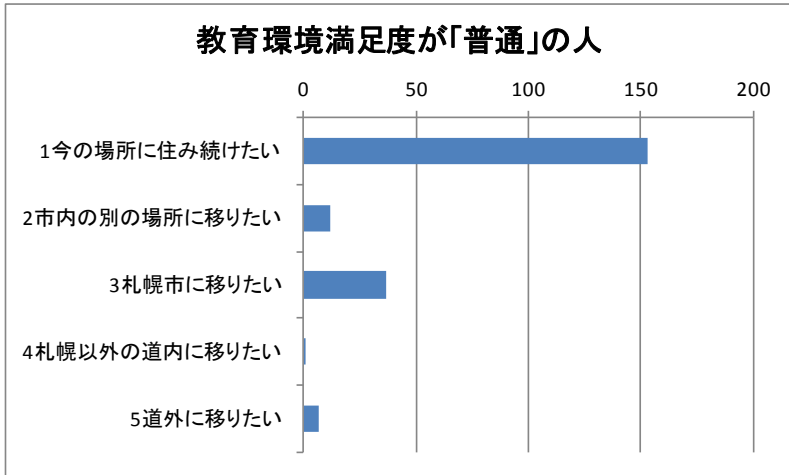
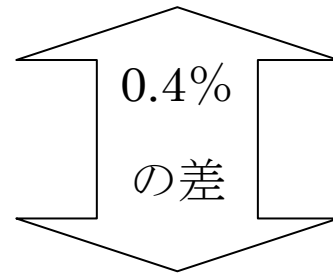
④教育環境充実に向けた施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

内容	人数
学校(中学)によって成績の付け方に差がある	1
進学はほぼ市外である	1
空き教室の活用利用が不満	1
中学校の安全(治安)面に不安	1
特色ある教育を市外へアピールすべき(少人数学級や小中一貫教育)	1
学校の「個性」を出すような取り組みは必要ない	1
少人数学校が必要	1
部活数が少ない	1
よくわからない	1

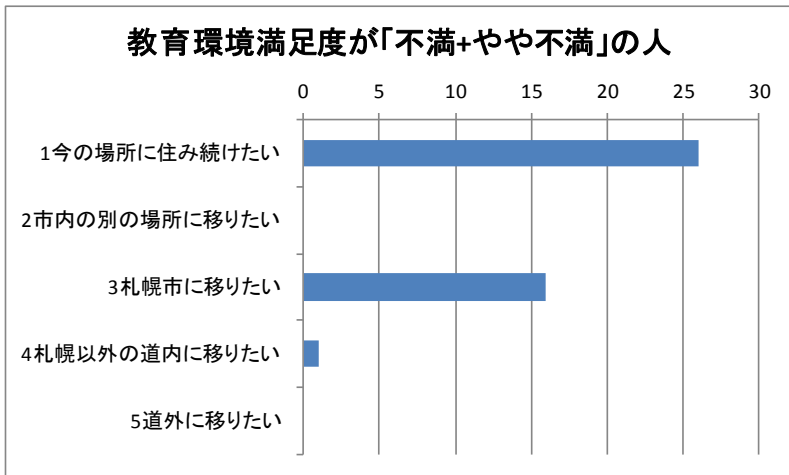
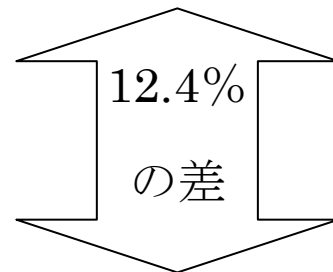
⑤満足度ごとの分析 「これからも住み続けたいか」



今の場所に住み続けたい人の割合
73.3%



今の場所に住み続けたい人の割合
72.9%



今の場所に住み続けたい人の割合
60.5%

■教育環境満足度「満足+やや満足」と「普通」の「住み続けたい割合」の差が小さい
 ■教育環境満足度「普通」と「不満+やや不満」との「住み続けたい割合」の差が比較的大きい
 ⇒子育て満足度「不満+やや不満」を「普通」に上げた場合の、「住み続けたい割合」の増加率が高い

2-2. 個別の取組内容について (問 18)

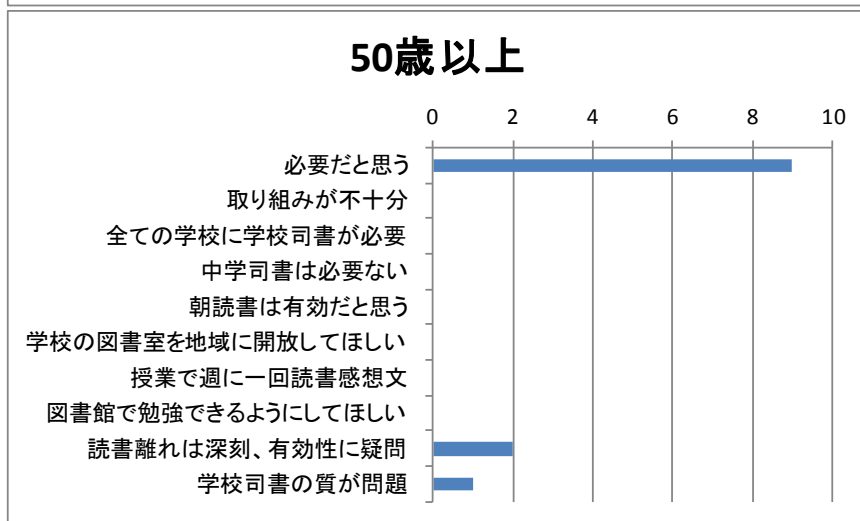
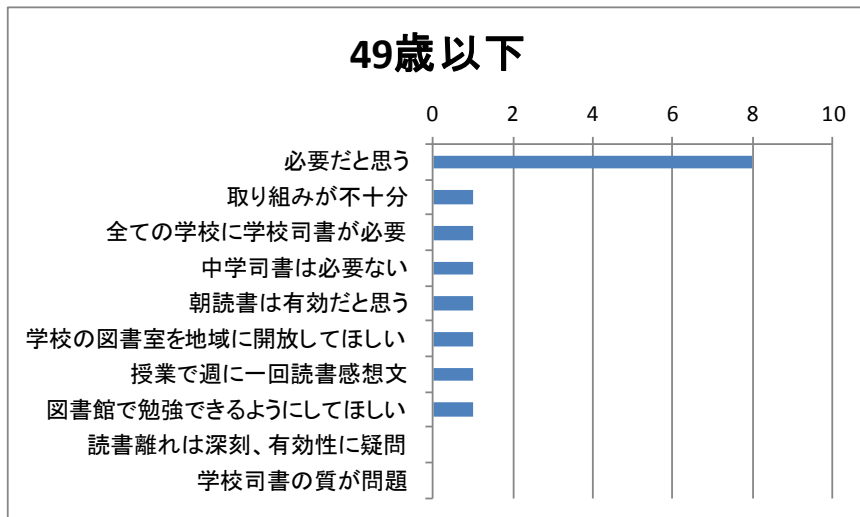
①学校図書館活用事業

【認知度・有効度】

	全体	2世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	33.5%	38.5%
有効度	3.8	3.9

■ 認知度、有効度は平均的

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」という意見が多い

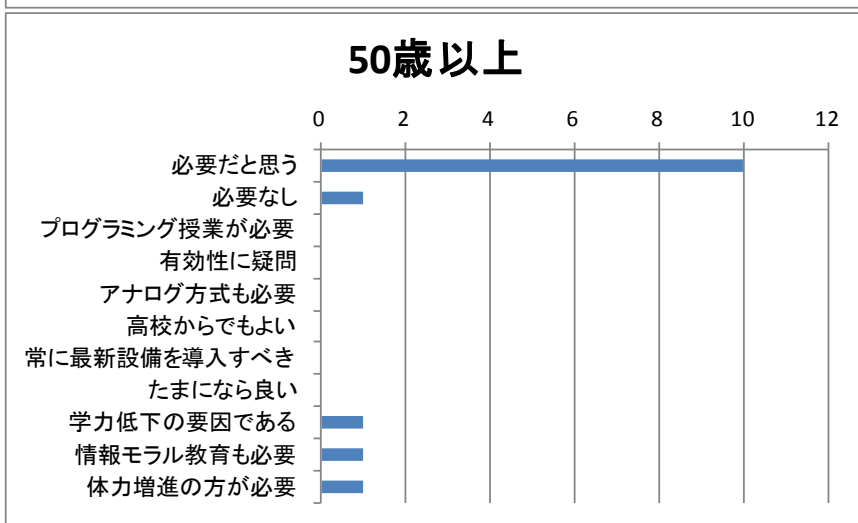
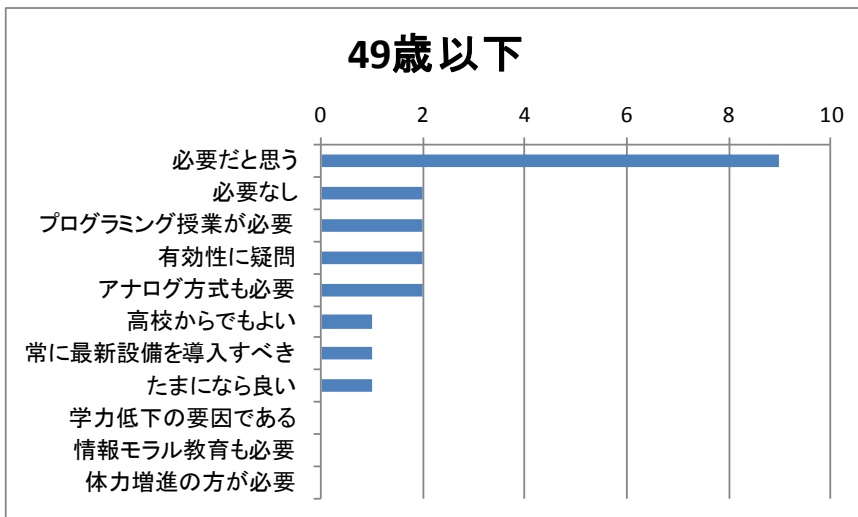
②学校 ICT 環境整備事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	39.0%	43.7%
有効度	3.9	3.9

■ 認知度、有効度は平均的

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」という意見が多い

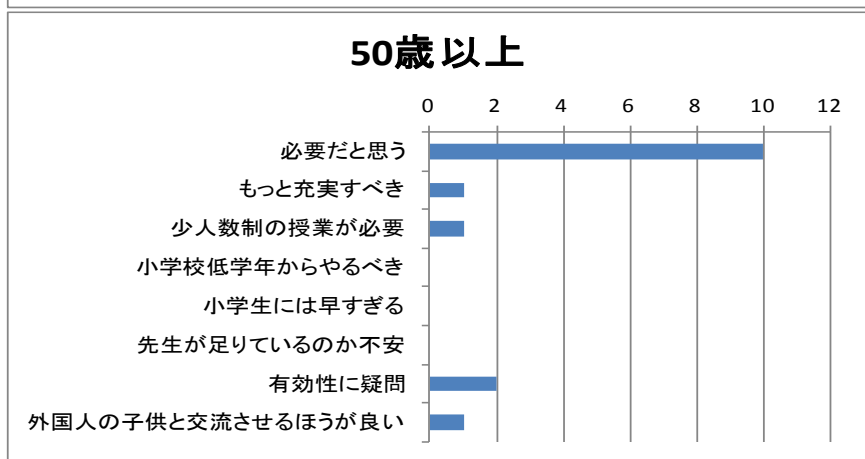
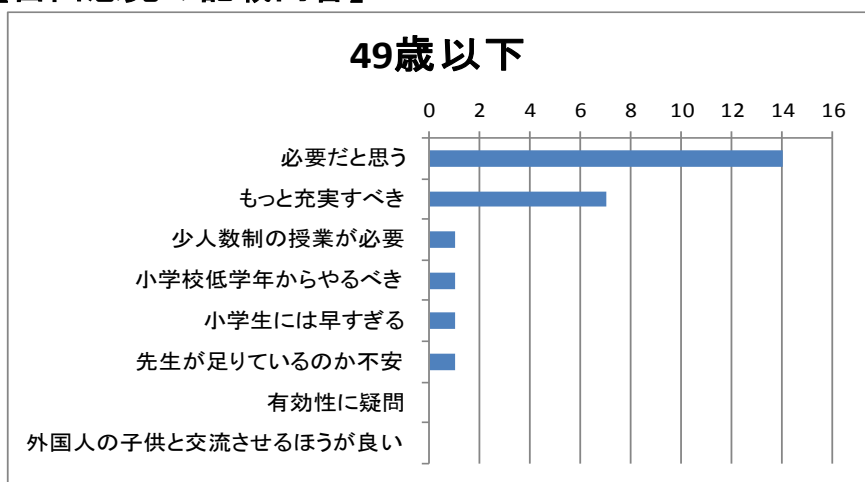
③外国語指導助手活用事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
認知度	46.8%	52.2%
有効度	4.1	4.1

■ 認知度、有効度ともに比較的高い

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」「もっと充実すべき」という意見が多い

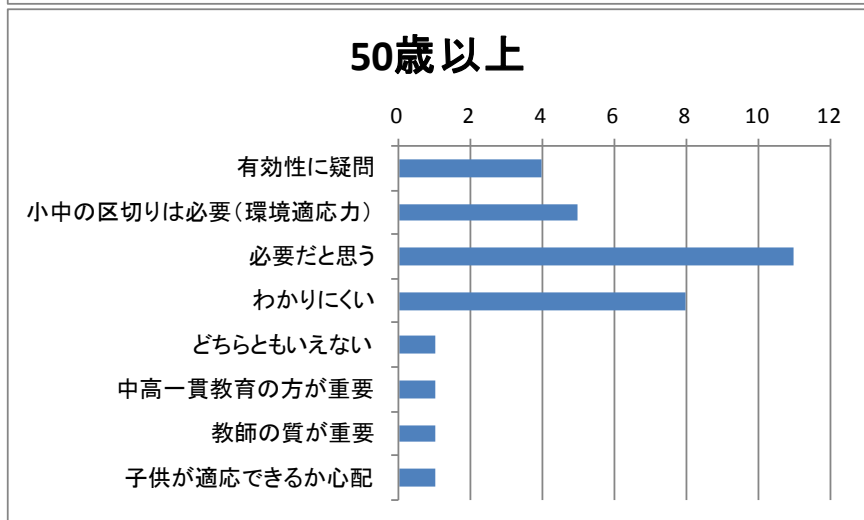
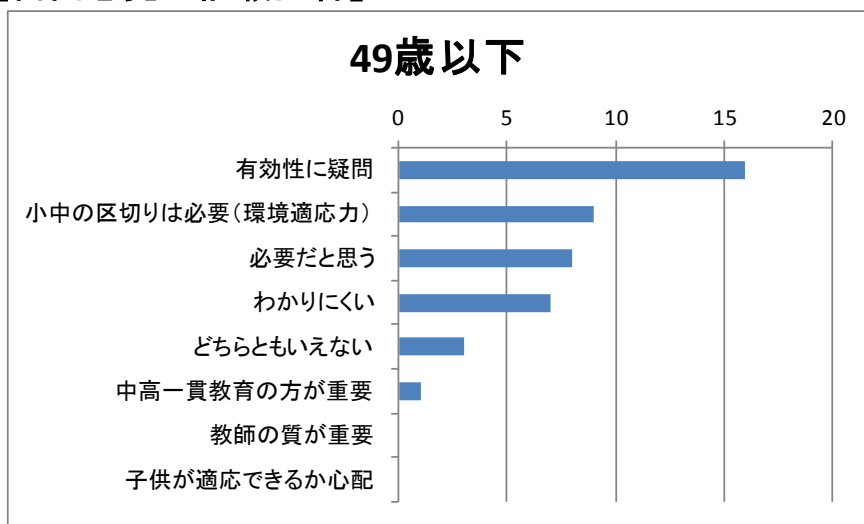
④小中一貫教育推進事業（平成 28 年度新規事業）

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
有効度	3.4	3.4

■有効度は低い

【自由意見の記載内容】



■「有効性に疑問」「小中の区切りは必要」という意見が多い

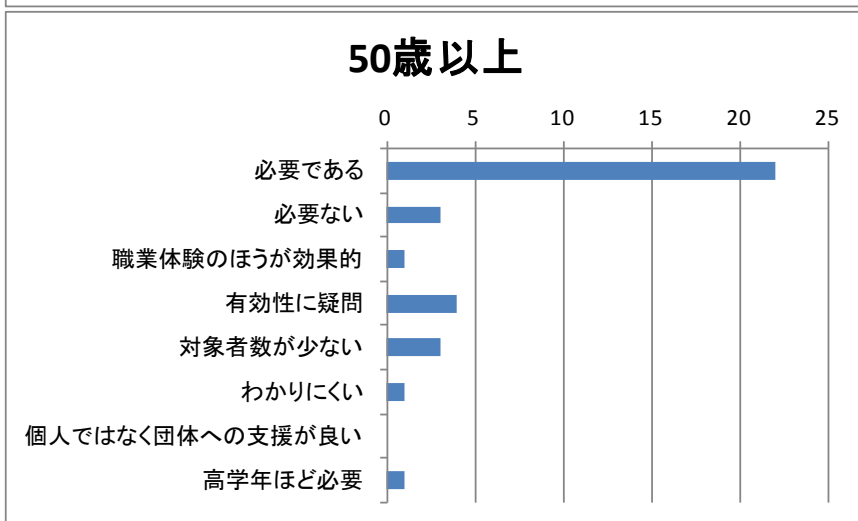
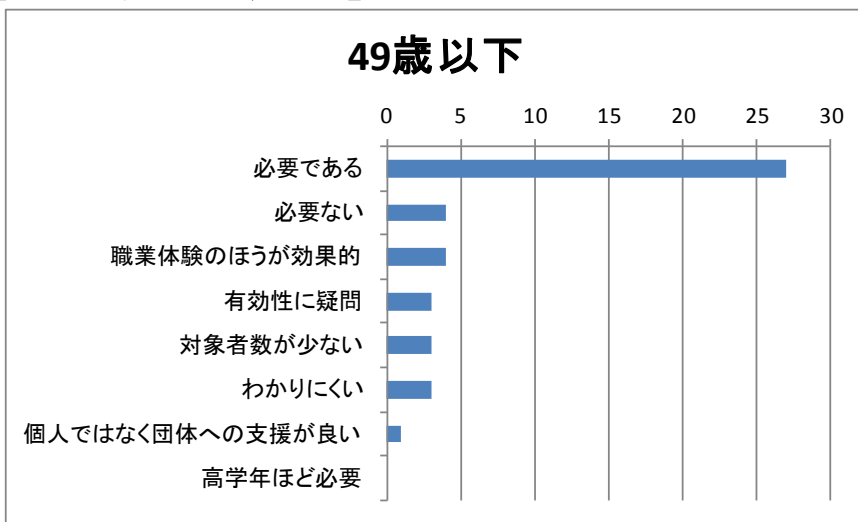
⑤子ども夢チャレンジ事業（平成 28 年度新規事業）

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
有効度	3.9	3.8

■有効度は平均的

【自由意見の記載内容】



■「必要である」という意見が多い

Ⅲ 調査結果

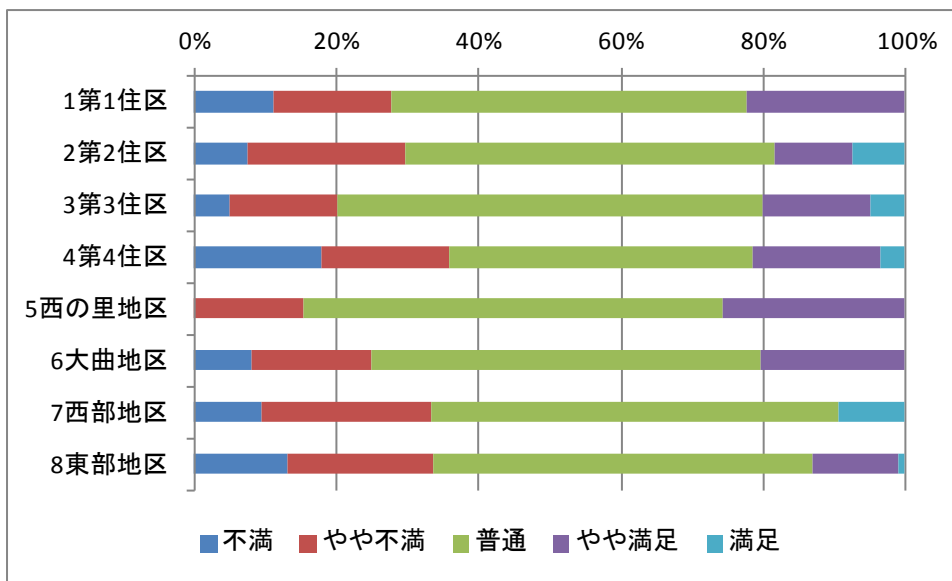
(3. 定住人口の増加)

3. 定住人口の増加に向けた取り組みについて

3-1. 取組全体について (問 13)

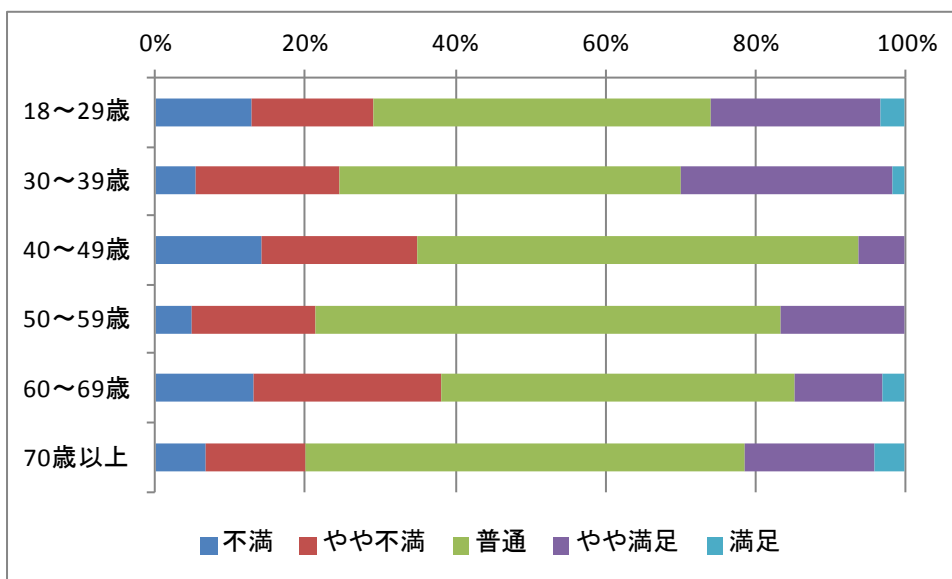
施策	満足度	重要度
定住人口の増加	2.8	3.8

①地区別の満足度



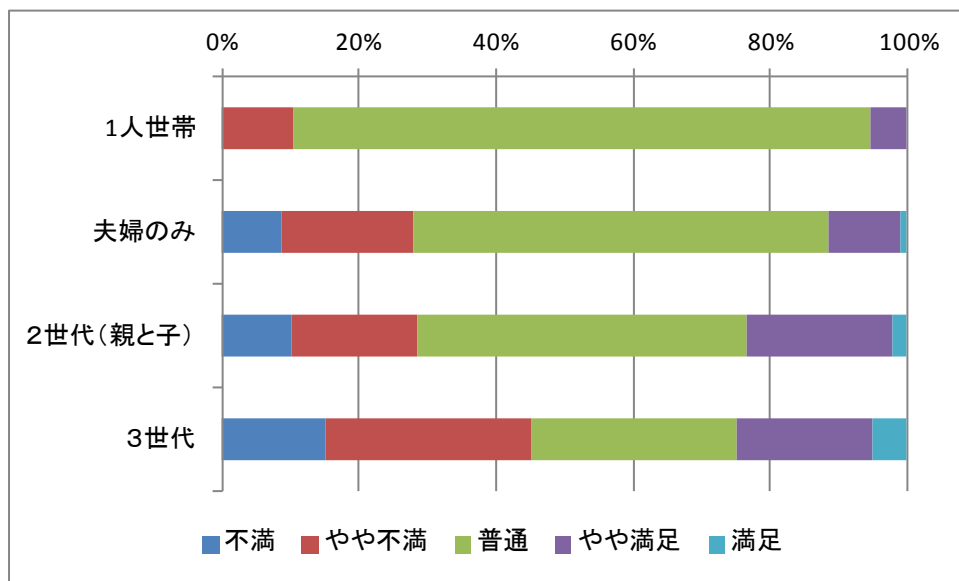
	満足度平均
1第1住区	2.8
2第2住区	2.9
3第3住区	3.0
4第4住区	2.7
5西の里地区	3.1
6大曲地区	2.9
7西部地区	2.8
8東部地区	2.7

②年齢別の満足度



	満足度平均
18～29歳	2.9
30～39歳	3.0
40～49歳	2.6
50～59歳	2.9
60～69歳	2.7
70歳以上	3.0

③家族構成別の満足度

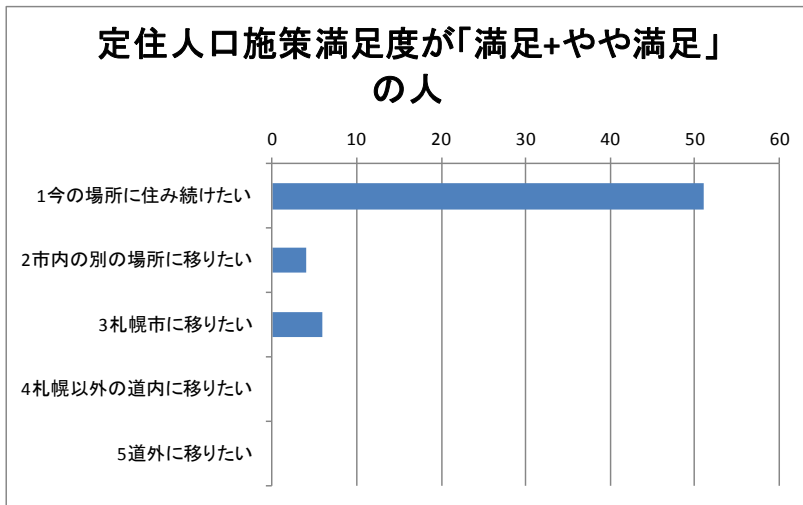


	満足度
1人世帯	2.9
夫婦のみ	2.8
2世代(親と子)	2.9
3世代	2.7

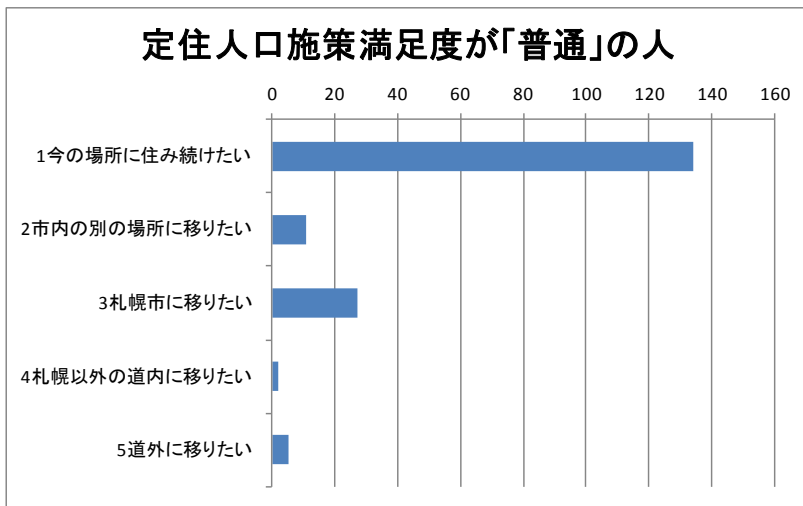
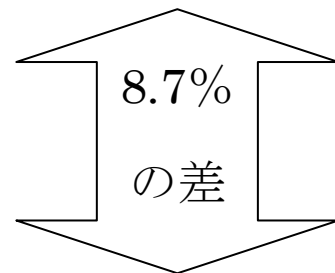
④定住人口増加に向けた施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

内容	人数
取組内容がわからない	7
更なる取り組みが必要	5
市職員や市内企業の従業員の市内居住が必要	3
周知が不足している	3
外よりも内に目を向けるべき	2
娯楽施設の充実が必要	2
抜本的な取り組みが必要	2
空き地・空き家の流通が必要	1
公共交通の改善が必要	1
市の魅力向上が必要	1
施策に偏りがある	1
人口減少を前提とした施策をすべき	1
他の地域と取り合っても仕方がない	1

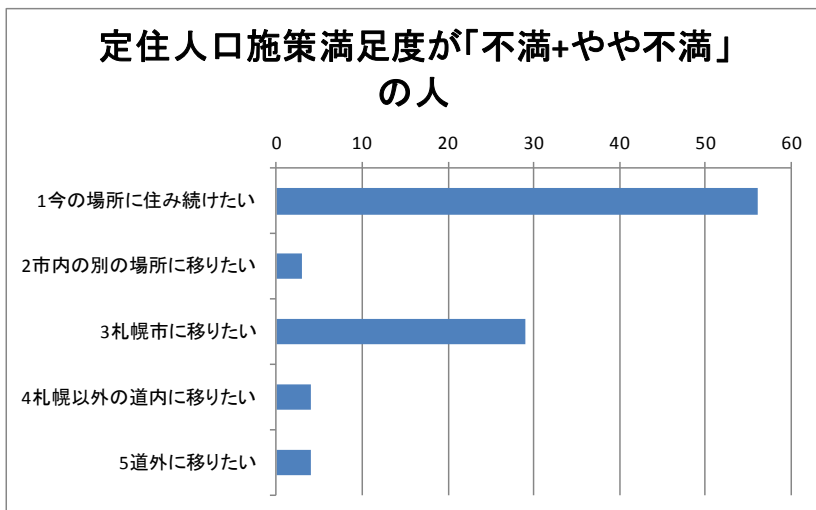
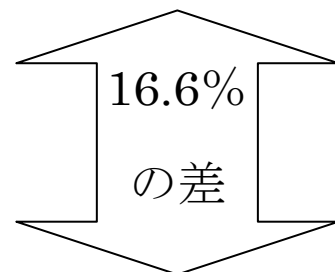
⑤満足度ごとの分析 「これからも住み続けたいか」



今の場所に住み続けたい人の割合
83.6%



今の場所に住み続けたい人の割合
74.9%



今の場所に住み続けたい人の割合
58.3%

■ 定住人口施策満足度ごとの「住み続けたい割合」の差が大きい
⇒ 定住人口施策満足度を上げた場合、「住み続けたい割合」の増加率が高くなる

3-2. 個別の取組内容について (問 19)

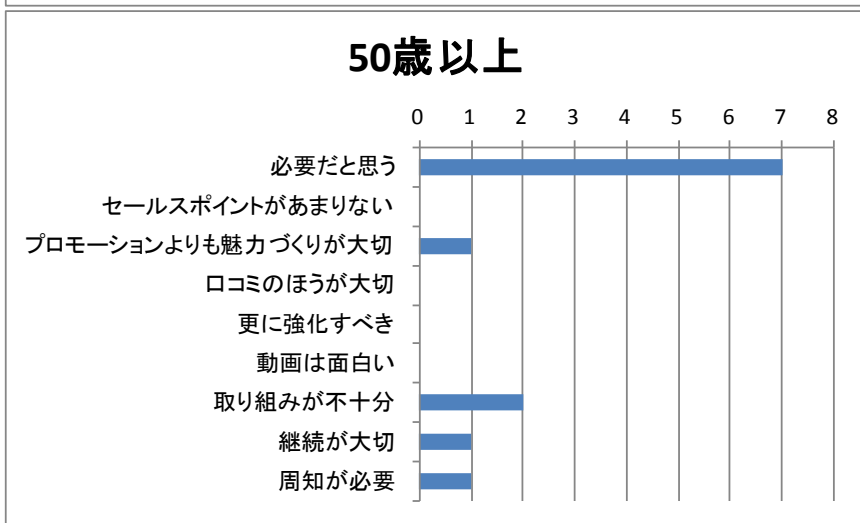
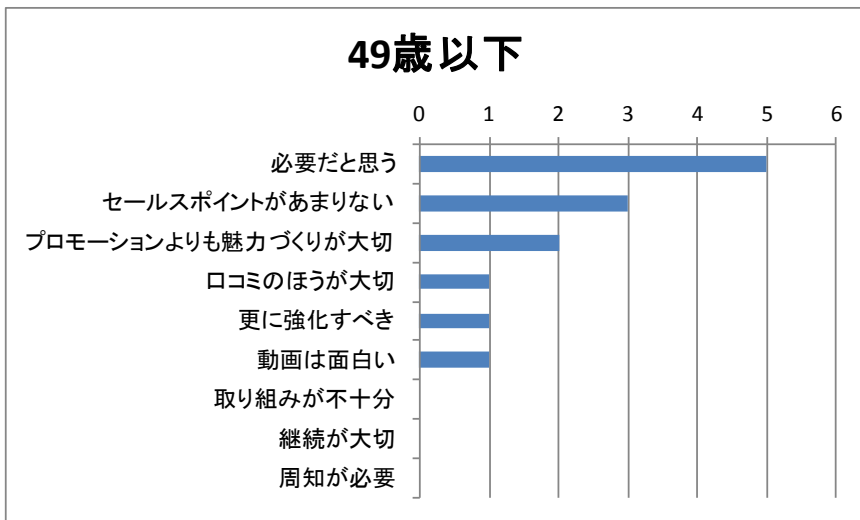
① シティセールス推進事業

【認知度・有効度】

	全体
認知度	28.7%
有効度	3.9

■ 認知度が比較的低い

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」が多いが、その他の意見も多い

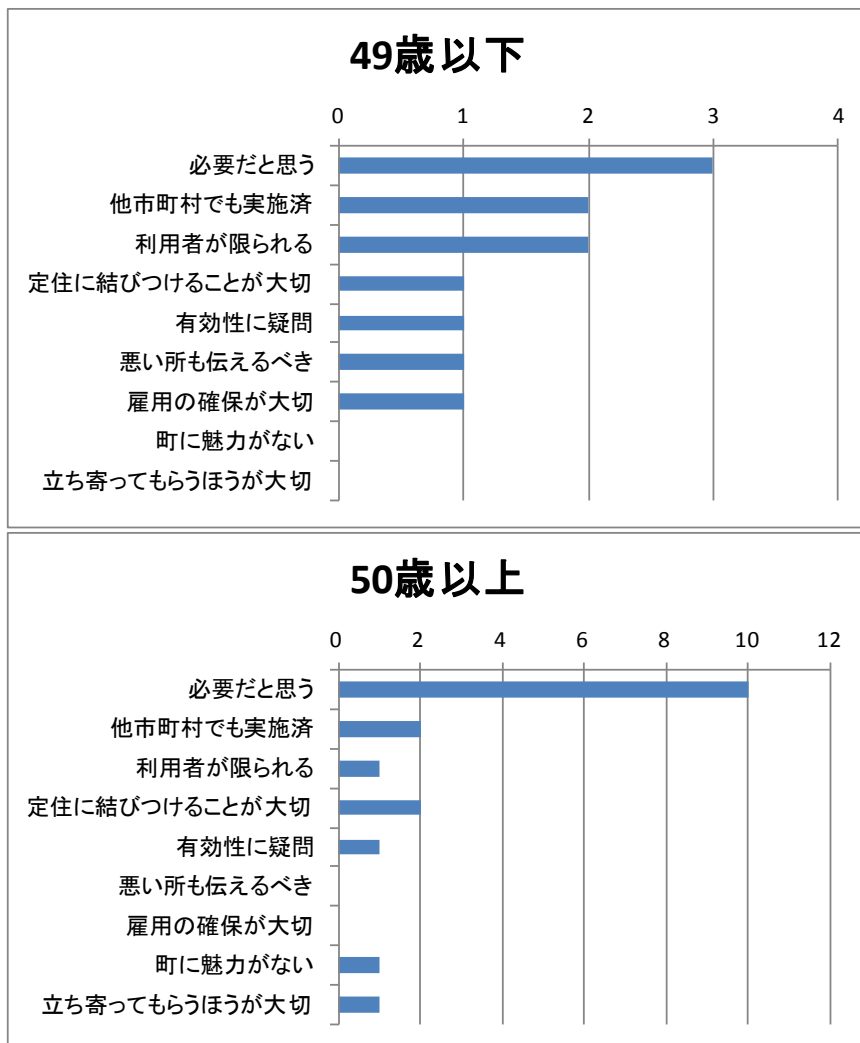
②おためし移住事業

【認知度・有効度】

	全体
認知度	39.5%
有効度	3.7

■有効度が比較的低い

【自由意見の記載内容】



■49歳以下において、「必要だと思う」以外の意見が多い

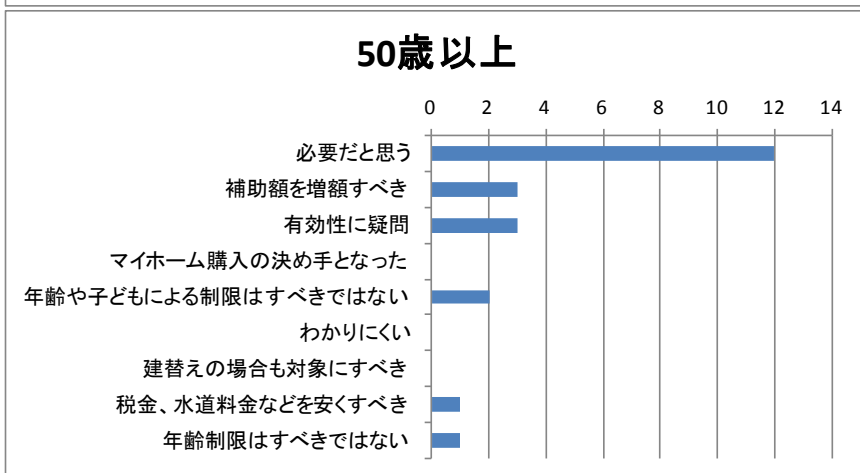
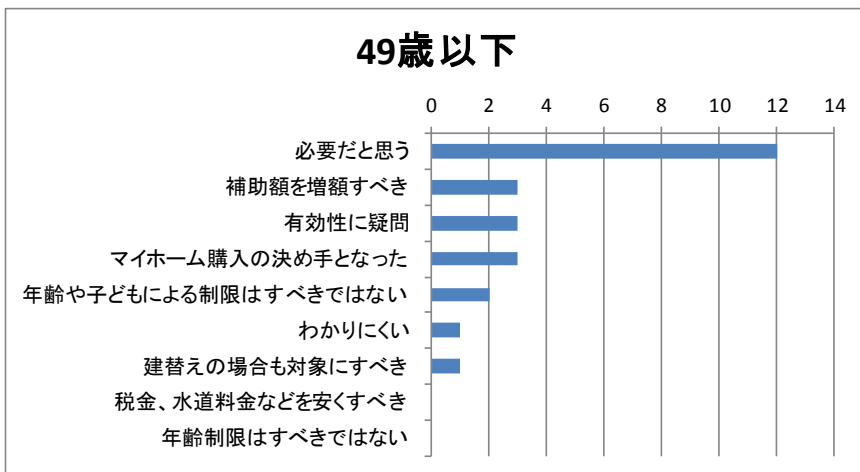
③ファーストマイホーム支援事業

【認知度・有効度】

	全体
認知度	48.7%
有効度	4.0

■ 認知度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」に加えて「補助額を増額すべき」、「マイホーム購入の決め手となった」が多い

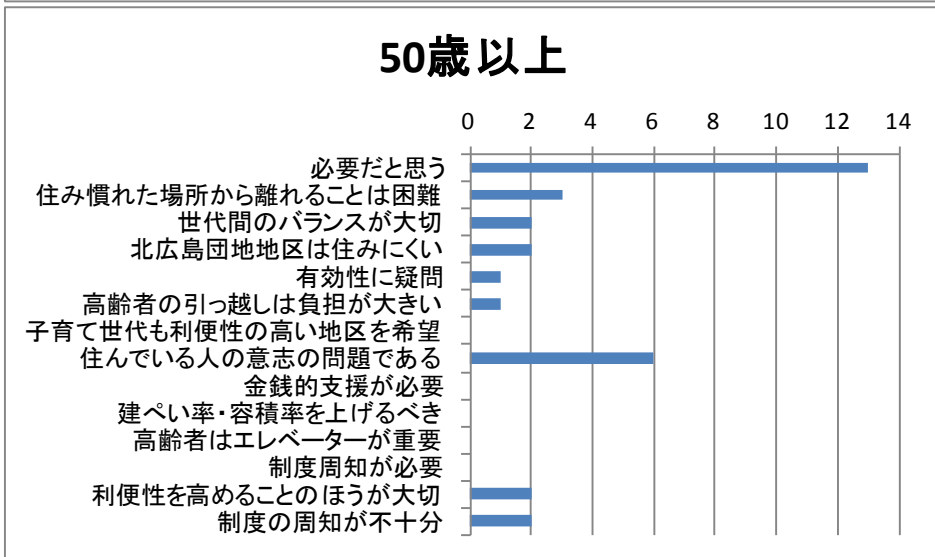
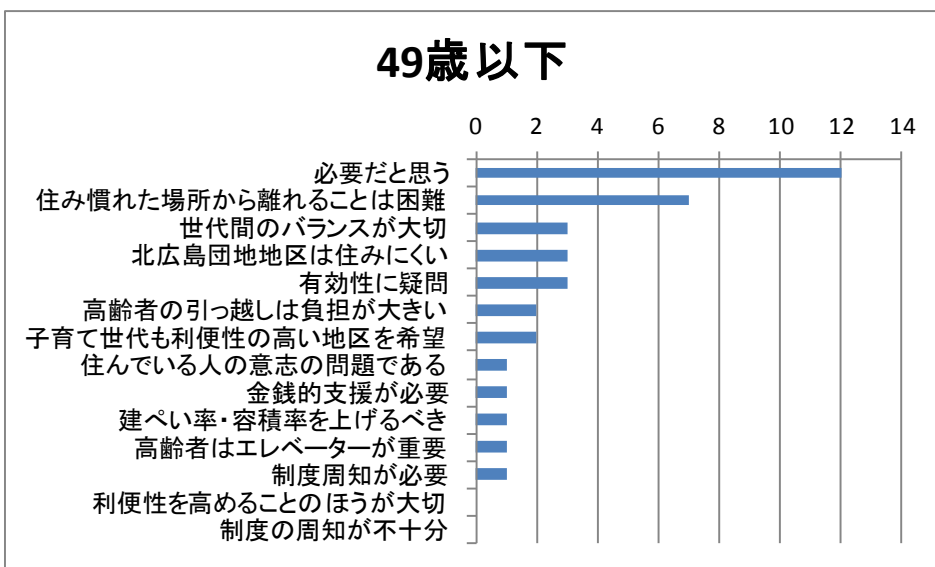
④ 住み替え支援事業

【認知度・有効度】

	全体	1人世帯か夫婦世帯で60歳以上
有効度	3.5	3.6

■ 有効度が比較的低い

【自由意見の記載内容】



■ 「必要だと思う」が多いが、「住み慣れた場所から離れることは困難」「住んでいる人の意思の問題である」などの意見も多い

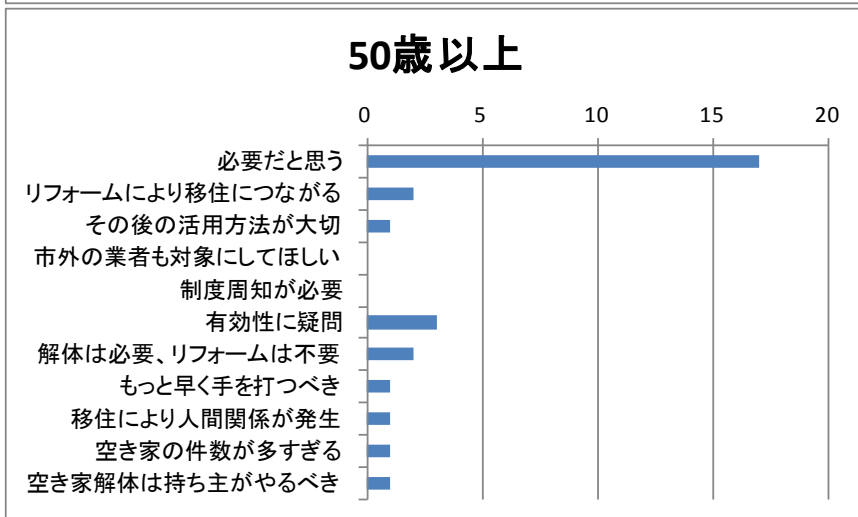
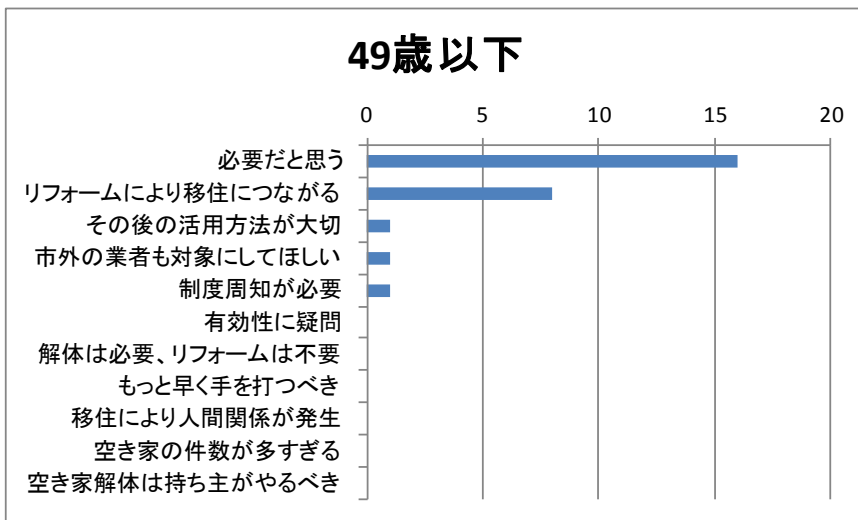
⑤空き家の流動化促進事業

【認知度・有効度】

	全体	1人世帯か夫婦世帯で60歳以上
有効度	4.0	4.0

■有効度が比較的高い

【自由意見の記載内容】



■「必要だと思う」、「リフォームにより移住につながる」が多い

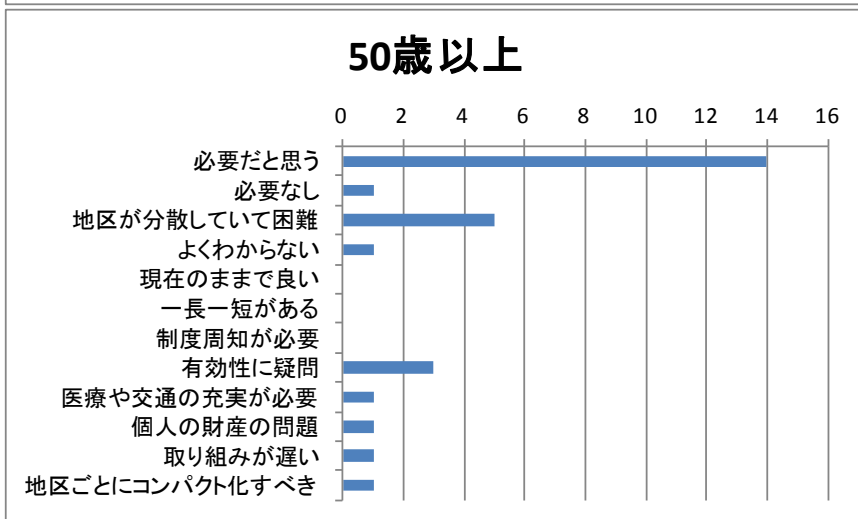
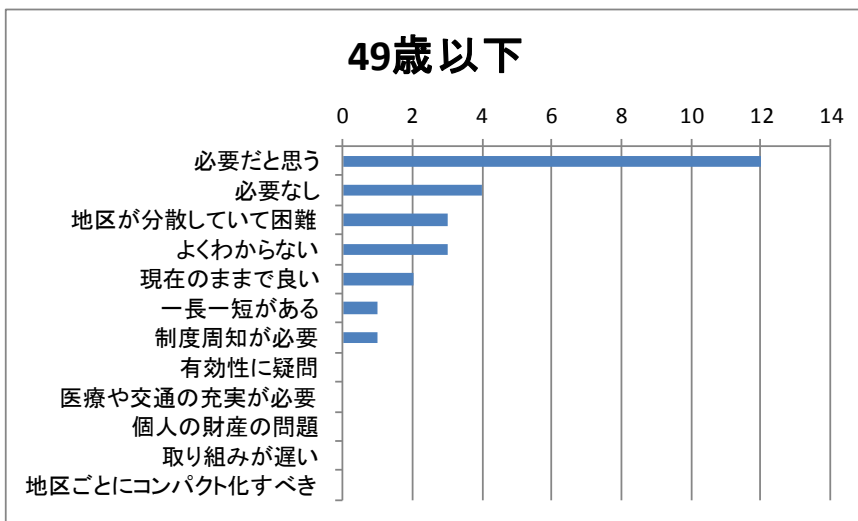
⑥立地適正化計画策定事業

【認知度・有効度】

	全体
有効度	3.6

■有効度が比較的低い

【自由意見の記載内容】



■「必要だと思う」が多い

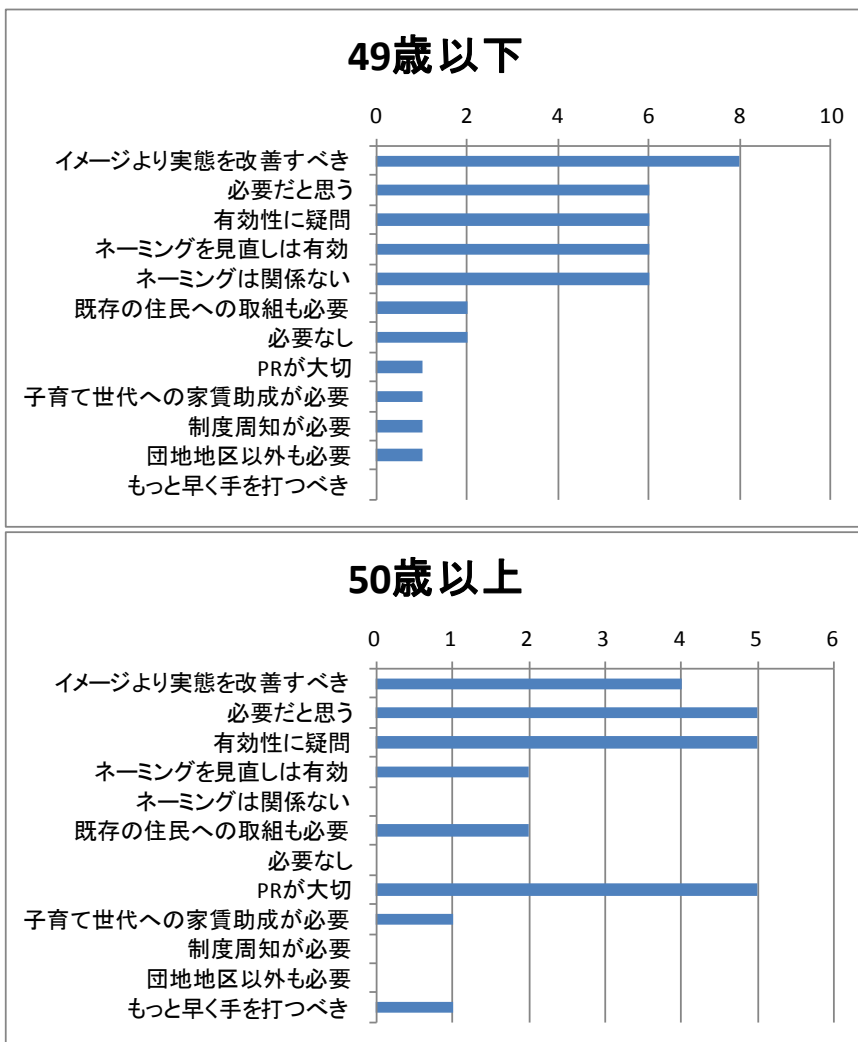
⑦北広島団地イメージアップ事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
有効度	3.4	3.4

■有効度が低い

【自由意見の記載内容】



■「イメージより実態を改善すべき」、「有効性に疑問」などの意見が多い。

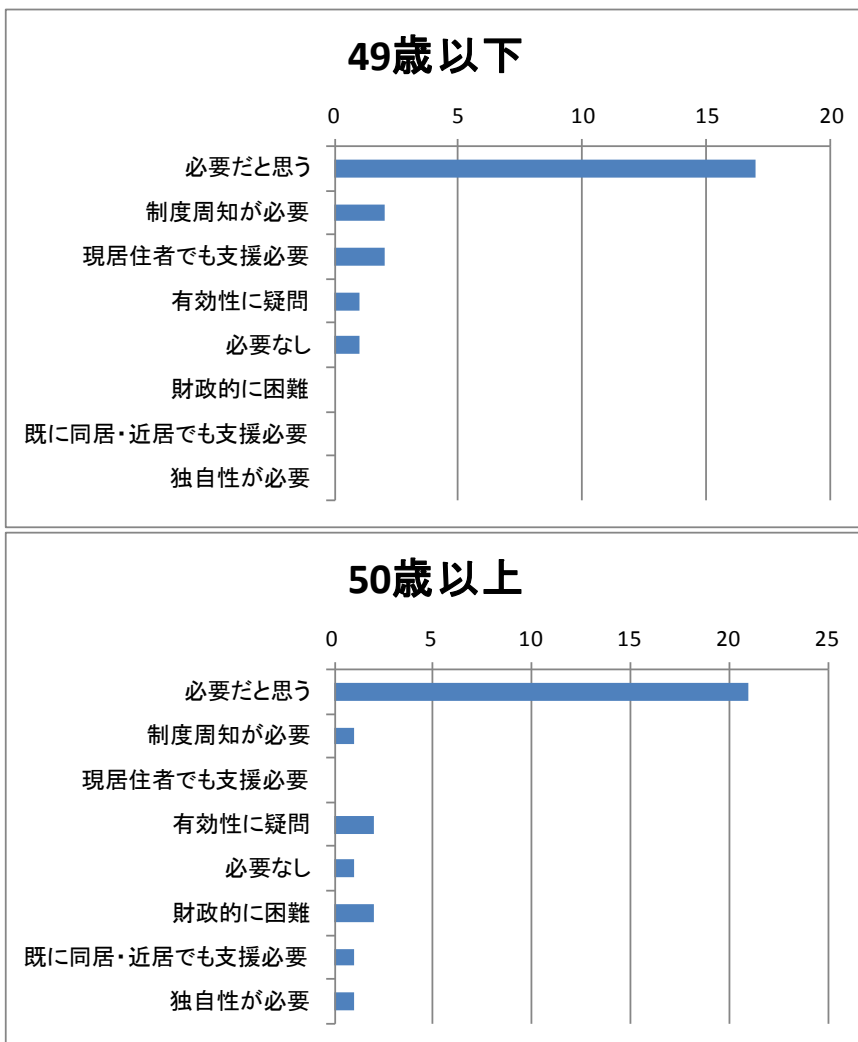
⑧子育て世代マイホーム購入サポート事業

【認知度・有効度】

	全体	2 世代世帯 (親と子の世帯)
有効度	3.9	3.9

■有効度は平均的

【自由意見の記載内容】



■「必要だと思う」が多い

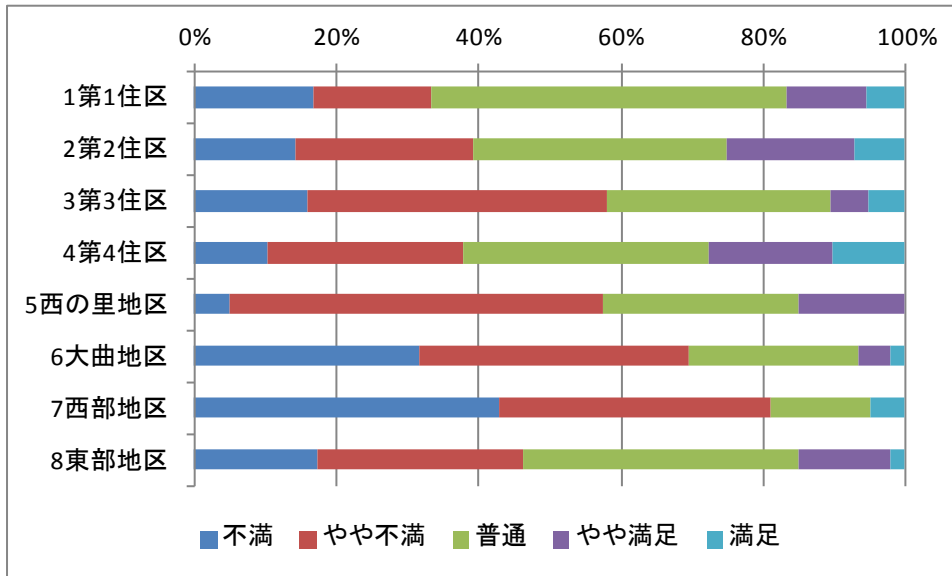
Ⅲ 調査結果

(4 . 利便性の高い公共交通)

4. 利便性の高い公共交通に向けた取り組みについて（問 14）

施策	満足度	重要度
利便性の高い公共交通	2.4	3.9

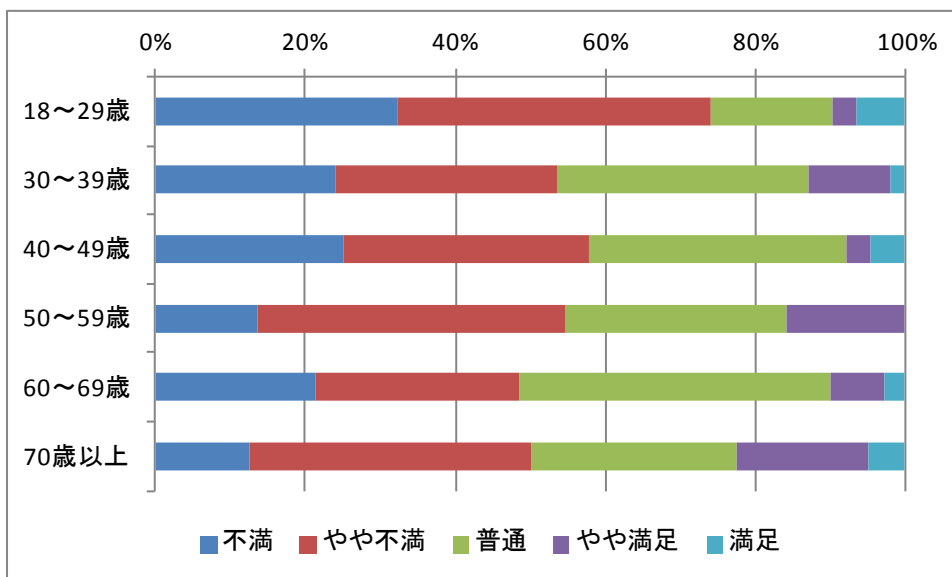
①地区別の満足度



	満足度平均
1第1住区	2.7
2第2住区	2.8
3第3住区	2.4
4第4住区	2.9
5西の里地区	2.5
6大曲地区	2.1
7西部地区	1.9
8東部地区	2.5

■ 満足度が低い地区：大曲地区、西部地区

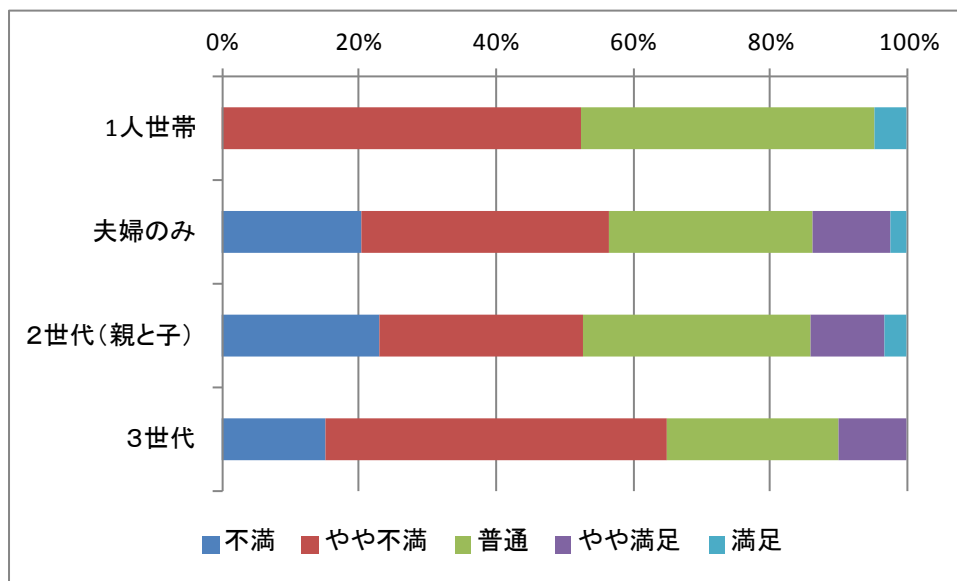
②年齢別の満足度



	満足度平均
18～29歳	2.1
30～39歳	2.4
40～49歳	2.3
50～59歳	2.5
60～69歳	2.4
70歳以上	2.7

■ 満足度が低い年代：18～29歳

③家族構成別の満足度



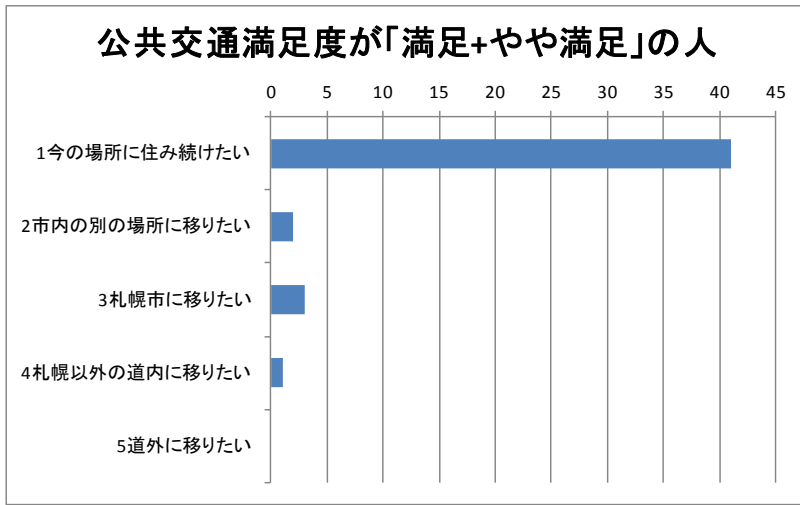
	満足度平均
1 1人世帯	2.6
2 夫婦のみ	2.4
3 2世代(親と子)	2.4
4 3世代	2.3

■ 満足度が低い家族構成：3世代

④利便性の高い公共交通に向けた施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

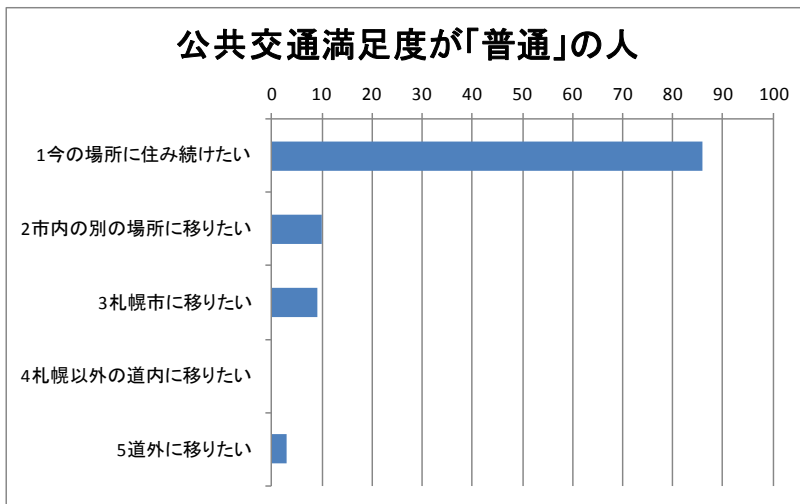
内容	人数
地区間の交通が不便	3
バス料金が高い	2
公共交通の便が悪い	2
今後バス路線の維持は必要	2
市民ニーズの把握が必要	2
地下鉄があるといい	2
エコバスを導入すべき	1
恵庭方面のバスが必要	1
計画的な取組が必要	1
高齢者にはバス停までの移動が不安	1
高齢者の移動手段が欲しい	1
市職員も路線バスを利用すべき	1
市内巡回バスが必要	1
西の里から清田区方面のバスが必要	1
通学のための補助制度が必要	1
平岡方面のバスが必要	1

⑤満足度ごとの分析 「これからも住みたいか」



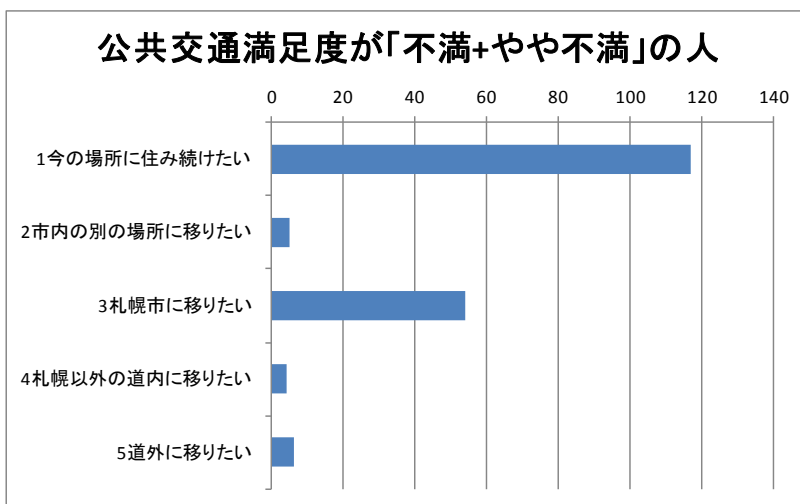
今の場所に住みたい人の割合
87.2%

7.6%
の差



今の場所に住みたい人の割合
79.6%

16.7%
の差



今の場所に住みたい人の割合
62.9%

■ 公共交通満足度ごとの「住みたい割合」の差が大きい
 ■ 公共交通満足度が「満足」「やや満足」の人の「住みたい割合」が高い
 ⇒ 公共交通の満足度を上げれば、「住みたい割合」の増加率が高くなる

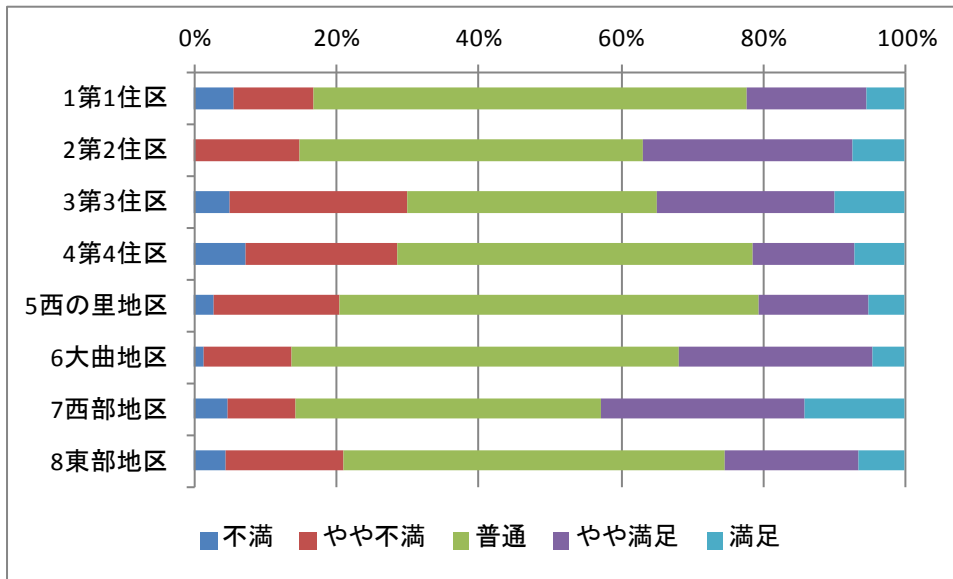
Ⅲ 調査結果

(5. 産業振興・雇用確保)

5. 産業の振興や雇用の確保に向けた取り組みについて（問 15）

施策	満足度	重要度
産業の振興や雇用の確保	3.1	3.9

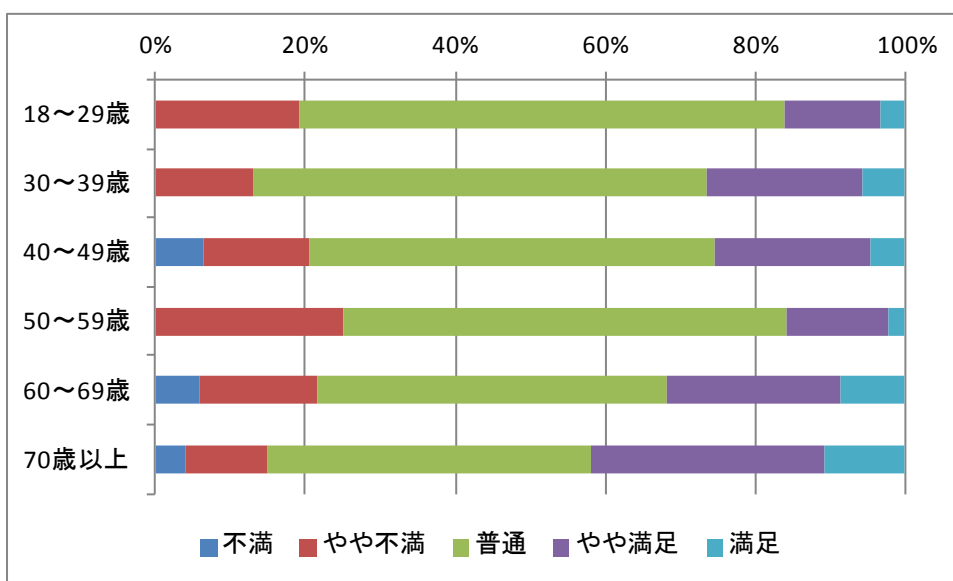
①地区別の満足度



	満足度平均
1第1住区	3.1
2第2住区	3.3
3第3住区	3.1
4第4住区	2.9
5西の里地区	3.0
6大曲地区	3.2
7西部地区	3.4
8東部地区	3.1

■満足度が高い地区：西部地区、第2住区

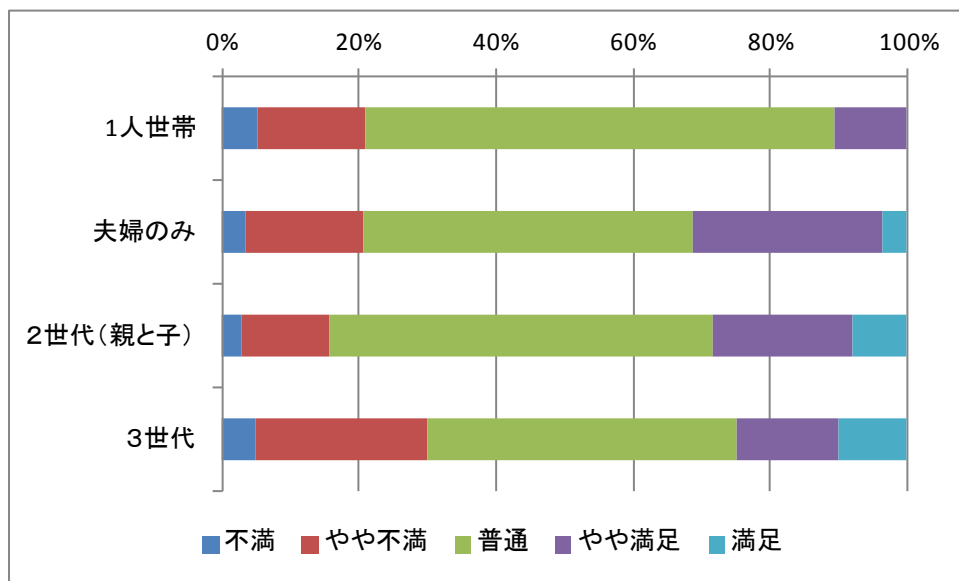
②年齢別の満足度



	満足度平均
18～29歳	3.0
30～39歳	3.2
40～49歳	3.0
50～59歳	2.9
60～69歳	3.1
70歳以上	3.3

■満足度が低い年代：50～59歳

③家族構成別の満足度



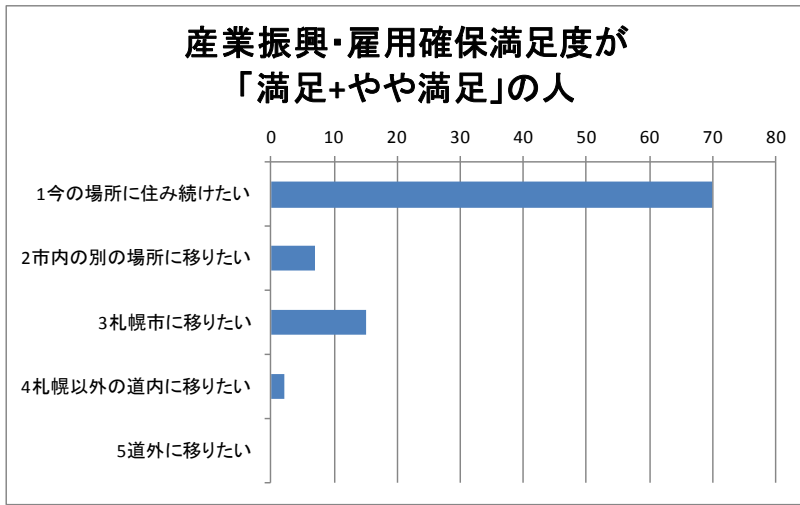
	満足度平均
1 1人世帯	2.8
2 夫婦のみ	3.1
3 2世代(親と子)	3.2
4 3世代	3.0

■ 満足度が低い家族構成：1人世帯

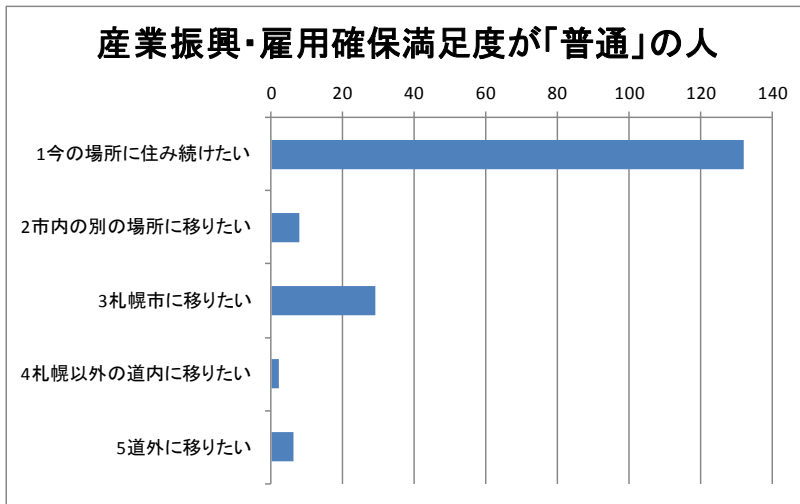
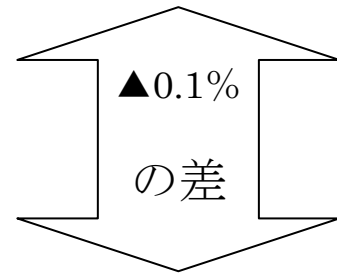
④産業振興や雇用確保に向けた施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

内容	人数
雇用の安定が必要	3
環境保護に配慮すべき	1
雇用環境が良くない	1
産業基盤の方向性がわからない	1
地区ごとの強みを生かすべき	1
農業の振興が必要	1
複合施設を増やすべき	1

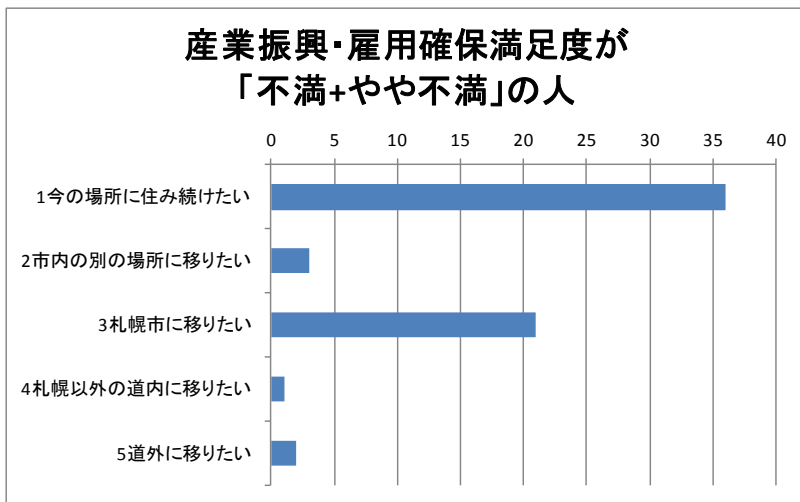
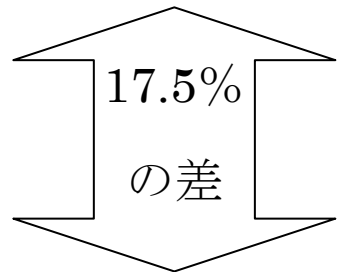
④満足度ごとの分析 「これからも住み続けたいか」



今の場所に住み続けたい人の割合
74.5%



今の場所に住み続けたい人の割合
74.6%



今の場所に住み続けたい人の割合
57.1%

■教育環境満足度「満足+やや満足」と「普通」の「住み続けたい割合」の差が小さい
 ■教育環境満足度「普通」と「不満+やや不満」との「住み続けたい割合」の差が比較的大きい
 ⇒子育て満足度「不満+やや不満」を「普通」に上げた場合の、「住み続けたい割合」の増加率が高い

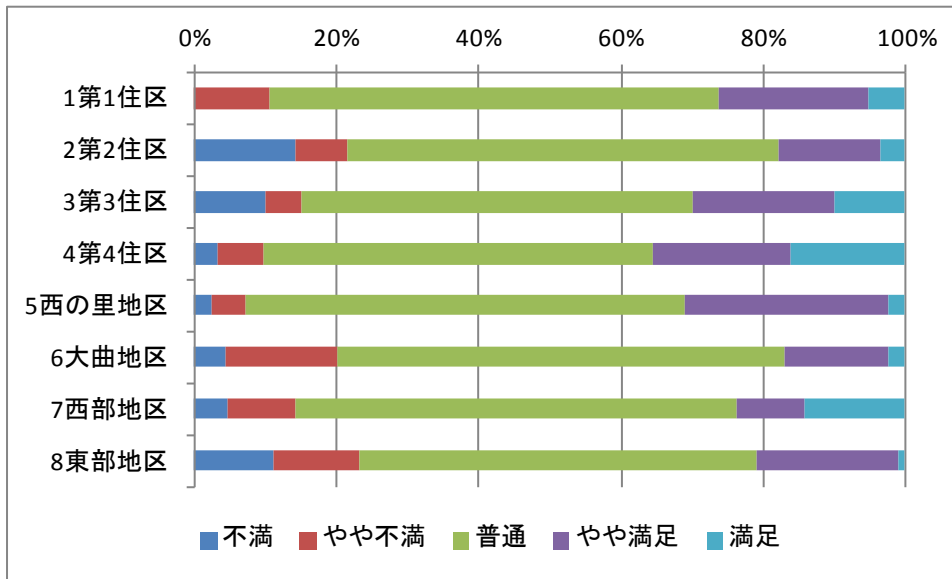
Ⅲ 調査結果

(6 . 防災体制の充実)

6. 防災体制の充実に向けた取り組みについて (問 16)

施策	満足度	重要度
防災体制の充実	3.0	3.8

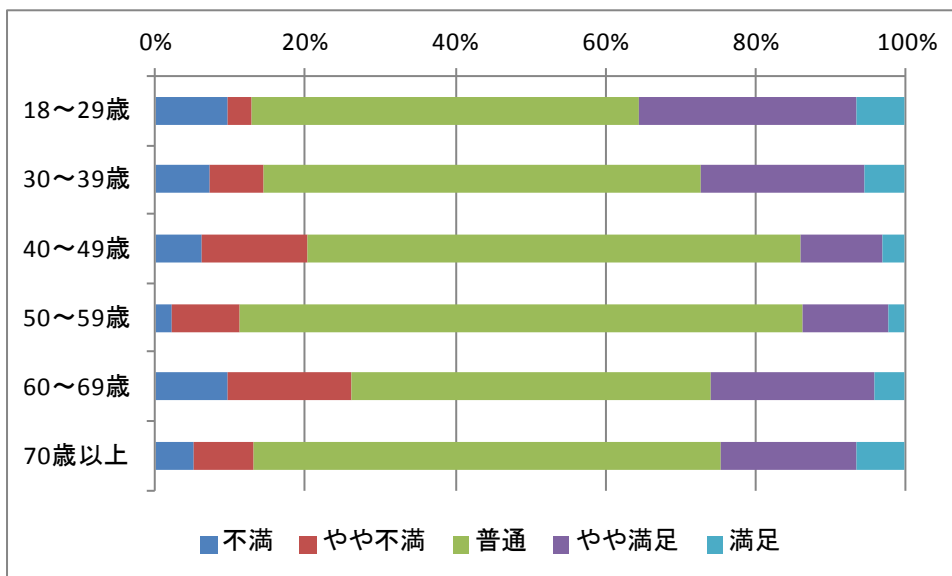
①地区別の満足度



	満足度平均
1第1住区	3.2
2第2住区	2.9
3第3住区	3.2
4第4住区	3.4
5西の里地区	3.2
6大曲地区	2.9
7西部地区	3.2
8東部地区	2.9

- 満足度が高い地区：第4住区
- 満足度が低い地区：第2住区、東部地区、大曲地区

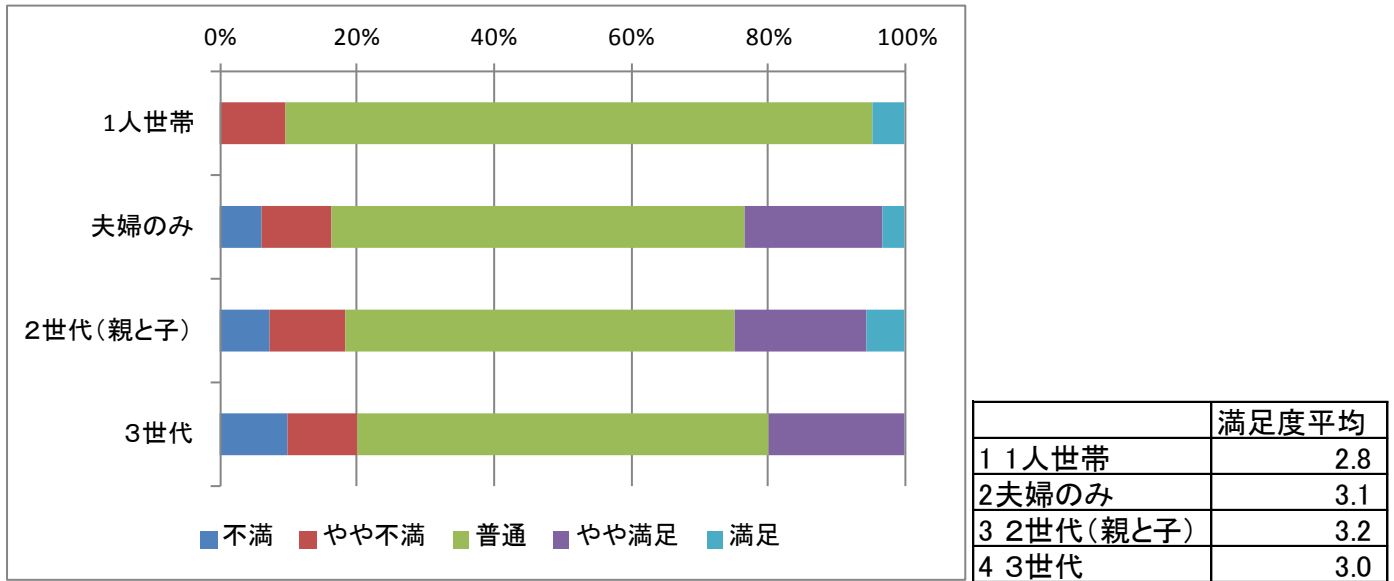
②年齢別の満足度



	満足度平均
18～29歳	3.2
30～39歳	3.1
40～49歳	2.9
50～59歳	3.0
60～69歳	2.9
70歳以上	3.1

- 満足度が低い年代：40～49歳、60～69歳

③家族構成別の満足度

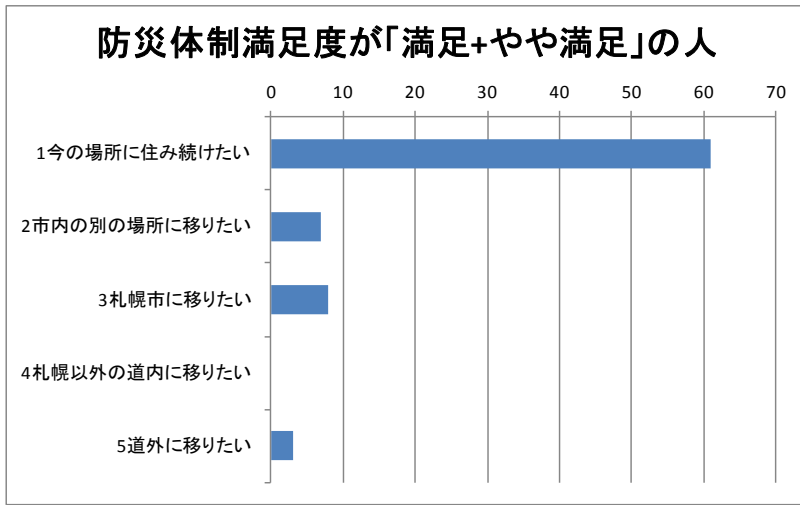


■ 満足度が低い家族構成：1人世帯

④防災体制の充実に向けた施策の満足度が「不満」「やや不満」な人の自由記載の内容

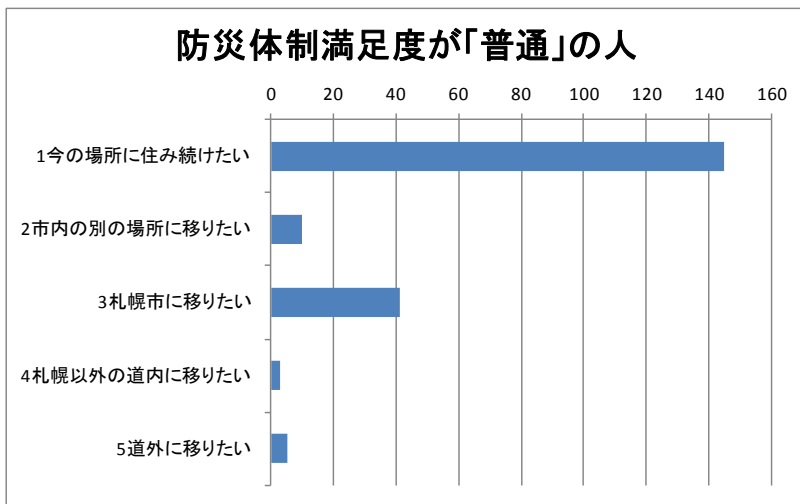
内容	人数
市民への周知が必要	2
取組内容がわからない	4
避難所への備蓄が必要	1
避難場所が遠い	1
万全な取組が必要	2
輪厚川の増水が不安	1

⑤満足度ごとの分析 「これからも住み続けたいか」



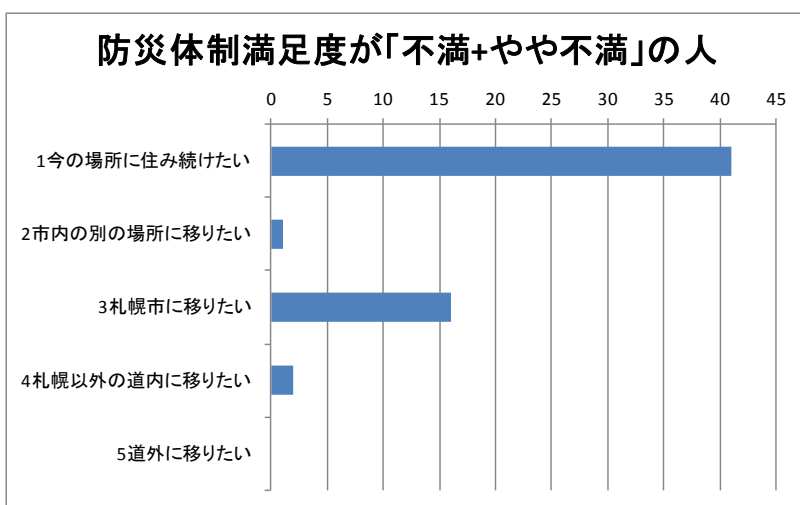
今の場所に住み続けたい人の割合
77.2%

6.1%
の差



今の場所に住み続けたい人の割合
71.1%

2.8%
の差



今の場所に住み続けたい人の割合
68.3%

■ 防災体制満足度ごとの「住み続けたい割合」の差が小さい
⇒ 「防災体制の充実」は基本的事項であると捉えられている

Ⅲ 調査結果

(7. 幸福度)

7. 幸福度について (問 20)

